

令和3年度

阪南2区整備事業に係る環境調査

海域環境調査

月報（2月分）

## 目 次

1. 調査目的 .....	1
2. 調査日および調査内容.....	1
3. 調査場所 .....	1
4. 調査結果 .....	4
4-1 水質調査結果.....	4
4-1-1 定点監視結果および環境基準との比較.....	4
4-1-2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較.....	11
4-2 底質調査結果.....	23
4-3 水生生物調査結果.....	27
4-3-1 植物プランクトン調査結果.....	27
4-3-2 動物プランクトン調査結果.....	27
4-3-3 底生生物調査結果.....	28
4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果.....	29
4-3-5 付着生物調査結果.....	30
4-3-6 漁獲対象動植物調査結果.....	32
4-3 ダイオキシン類調査結果.....	81
4-3-1 水質調査結果.....	81

### 1. 調査目的

本調査は、阪南2区整備事業において、埋立工事が周辺海域に及ぼす影響を監視することを目的とする。

### 2. 調査日および調査内容

調査日および調査内容を表2に示す。

表2 調査日および調査内容

調査日	水質調査		水生生物調査	調査内容
	定点監視	補助監視		
2月1日		○		現場機器測定
2月8日	○	○	○	採水・分析及び現場機器測定 植物プランクトン、動物プランクトン 付着生物
2月15日		○	○	現場機器測定 底質・底生生物、魚卵・稚仔魚
2月24日		○	○	現場機器測定 漁獲対象動植物（刺網設置）
2月25日			○	漁獲対象動植物（刺網回収、底引網の曳網）

### 3. 調査場所

岸和田市岸之浦町地先の阪南2区周辺海域において、水質の定点監視は St. 1～St. 4 の4地点、補助監視は護岸開口部の St. S-1、St. S-2 の2地点およびバックグラウンドを把握するため St. B-1～St. B-3 の3地点で行った。

底質の調査は St. 1～St. 4 の4地点、水生生物の動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物は St. 1～St. 4 の4地点、付着生物は St. A、St. B の2地点、漁獲対象動植物は St. イの1地点で行った。

調査地点の緯度、経度を表3に、調査地点を図3に示す。

表3 調査位置と調査内容

調査位置			水質調査		底質調査	水生生物調査		
地点名	位置		定点監視	補助監視		動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物	付着生物	漁獲対象動植物
	北緯	東経						
St. 1	34° 28' 57"	135° 20' 57"	○		○	○		
St. 2	34° 28' 02"	135° 20' 42"	○		○	○		
St. 3	34° 29' 12"	135° 21' 43"	○		○	○		
St. 4	34° 28' 02"	135° 21' 22"	○		○	○		
St. S-1	34° 29' 15"	135° 21' 21"		○				
St. S-2	34° 28' 14"	135° 20' 46"		○				
St. B-1	34° 29' 50"	135° 21' 11"		○				
St. B-2	34° 28' 57"	135° 20' 31"		○				
St. B-3	34° 27' 18"	135° 20' 55"		○				
St. A	34° 28' 31"	135° 20' 55"					○	
St. B	34° 28' 14"	135° 21' 27"					○	
St. イ	34° 29' 05"	135° 20' 52"						○

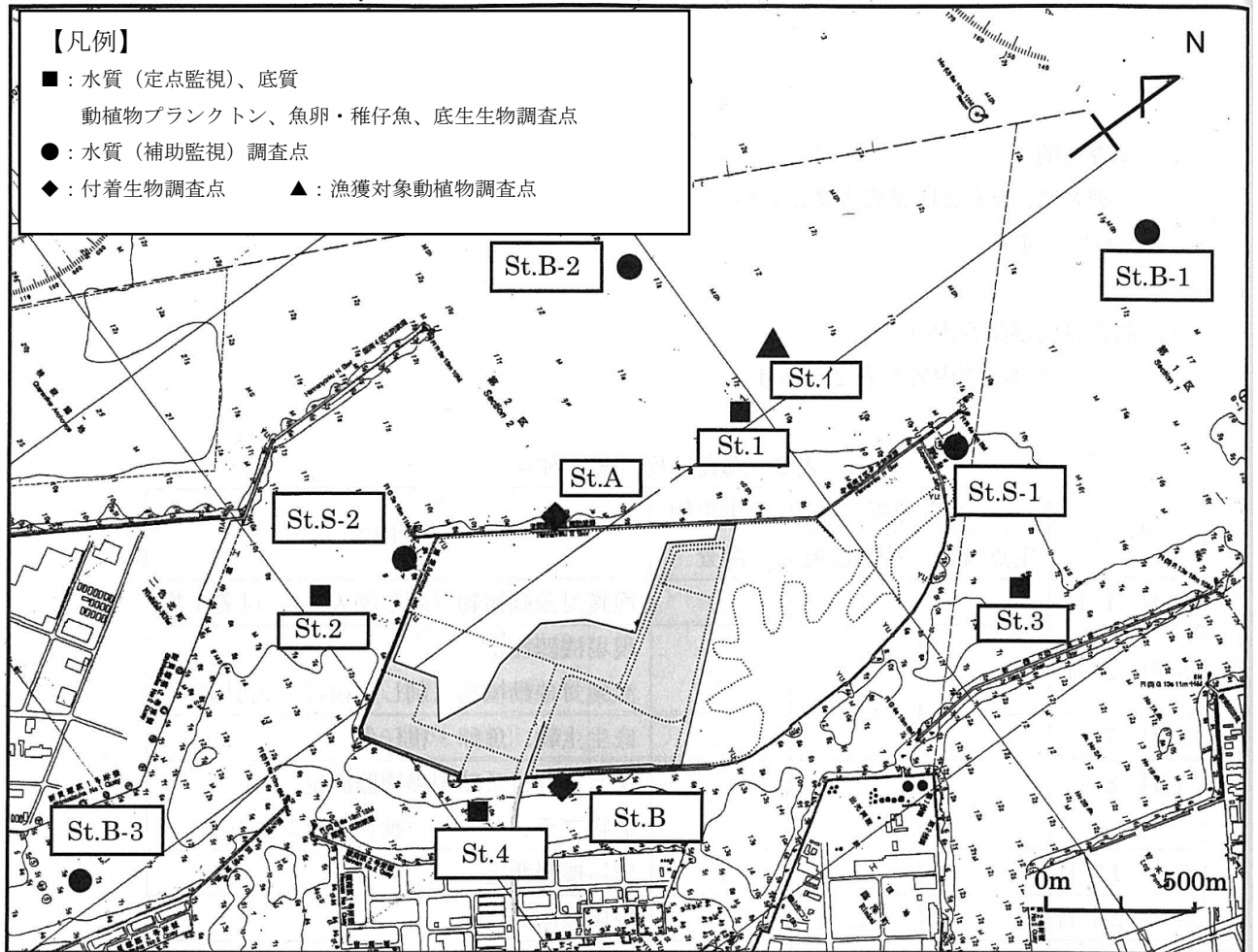


図3 調査地点

#### 4. 調査結果

##### 4-1 水質調査結果

###### 4-1-1 定点監視結果および環境基準との比較

水質調査結果を表4-1-1-1～表4-1-1-2、現場機器測定結果を表4-1-1-3、定点監視野帳を表4-1-1-4に示す。また、環境基準との比較を表4-1-1-5～表4-1-1-6に示す。当調査海域の環境基準は、昭和46年環境庁告示第59号別表2「生活環境の保全に関する環境基準」の「2海域」における表アのC類型、表イのIV類型に該当する。

##### 1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

##### 2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

##### 3) 採水分析項目

SSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

VSSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

CODは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全窒素は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全リンは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

クロロフィルaは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

「人の健康の保護に関する環境基準」項目の結果は、硝酸性窒素を除いて報告下限値未満であり、全地点において環境基準を満たしていた。

特殊項目の結果は、亜鉛を除いて報告下限値未満であった。

表4-1-1-1 水質調査結果(定点監視)

調査年月日：令和4年2月8日

項目\地点番号		St.1	St.2	St.3	St.4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:42	11:15	10:08	11:42				
水温 (°C)	上層	8.5	8.5	8.6	8.5	8.5	～	8.6	8.5
	下層	8.7	8.7	8.7	8.5	8.5	～	8.7	8.7
塩分	上層	31.4	31.3	31.3	31.3	31.3	～	31.4	31.3
	下層	31.9	31.9	31.7	31.5	31.5	～	31.9	31.8
濁度 度(材リ)	上層	1	1	1	1	1	～	1	1
	下層	1	2	1	2	1	～	2	2
pH	上層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	～	8.3	-
	下層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	～	8.3	-
SS (mg/L)	上層	1	2	2	1	1	～	2	2
	下層	1	2	1	1	1	～	2	1
VSS (mg/L)	上層	<1	1	1	1	<1	～	1	1
	下層	1	1	1	1	1	～	1	1
COD (mg/L)	上層	2.0	2.2	2.1	1.9	1.9	～	2.2	2.1
	下層	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	～	1.9	1.9
DO (mg/L)	上層	8.5	8.5	8.2	8.4	8.2	～	8.5	8.4
	下層	8.1	8.2	8.2	8.2	8.1	～	8.2	8.2
全窒素 (mg/L)	上層	0.23	0.29	0.32	0.25	0.23	～	0.32	0.27
	下層	0.17	0.18	0.19	0.21	0.17	～	0.21	0.19
全リン (mg/L)	上層	0.018	0.019	0.027	0.021	0.018	～	0.027	0.021
	下層	0.018	0.035	0.025	0.019	0.018	～	0.035	0.024
クロロフィルa (μg/L)	上層	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	～	2.0	1.9
	下層	2.7	3.2	2.2	2.7	2.2	～	3.2	2.7

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。(全地点が下限値未満の場合を除く。)

表4-1-1-2 水質調査結果（健康項目等）

調査年月日：令和4年2月8日

項目\調査地点	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素	mg/L	0.05	0.07	0.07	0.08
亜硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
フェノール類	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛	mg/L	0.006	0.011	0.016	0.011
溶解性鉄	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5



表 4 - 1 - 1 - 3 現場機器測定結果

調査年月日: 令和4年2月8日

調査地点		St.1				
時刻		10:42				
水深(m)		12.4				
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサ))
0.5	8.6	31.4	8.3	8.4	89	1
1.0	8.5	31.4	8.3	8.5	89	1
2.0	8.6	31.4	8.3	8.4	89	1
3.0	8.5	31.5	8.3	8.3	88	1
4.0	8.7	31.7	8.3	8.3	88	1
5.0	8.7	31.7	8.3	8.3	88	1
6.0	8.7	31.8	8.3	8.3	88	1
7.0	8.7	31.8	8.3	8.3	88	1
8.0	8.7	31.8	8.3	8.2	87	1
9.0	8.7	31.8	8.3	8.2	87	1
10.0	8.7	31.8	8.3	8.2	87	1
11.0	-	-	-	-	-	-
12.0	-	-	-	-	-	-
13.0	-	-	-	-	-	-
14.0	-	-	-	-	-	-
15.0	-	-	-	-	-	-
B-2.0	8.7	31.9	8.3	8.1	86	1
B-1.0	8.9	32.0	8.2	8.0	85	2
B-0.5	8.9	32.0	8.2	8.0	85	2

調査地点		St.2				
時刻		11:15				
水深(m)		13.7				
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサ))
0.5	8.5	31.3	8.3	8.5	89	1
1.0	8.5	31.3	8.3	8.5	89	1
2.0	8.4	31.3	8.3	8.5	89	1
3.0	8.5	31.4	8.3	8.5	89	1
4.0	8.5	31.5	8.3	8.3	88	1
5.0	8.5	31.6	8.3	8.2	87	2
6.0	8.6	31.7	8.3	8.2	87	1
7.0	8.7	31.7	8.3	8.2	87	1
8.0	8.7	31.7	8.3	8.2	87	2
9.0	8.6	31.8	8.3	8.2	87	1
10.0	8.7	31.8	8.3	8.1	86	3
11.0	8.7	31.8	8.3	8.1	86	2
12.0	-	-	-	-	-	-
13.0	-	-	-	-	-	-
14.0	-	-	-	-	-	-
15.0	-	-	-	-	-	-
B-2.0	8.7	31.9	8.3	8.2	87	2
B-1.0	8.8	31.9	8.3	8.2	87	2
B-0.5	8.8	31.9	8.3	8.2	87	2

調査地点		St.3				
時刻		10:08				
水深(m)		8.4				
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサ))
0.5	8.6	31.3	8.3	8.2	87	1
1.0	8.6	31.3	8.3	8.2	87	1
2.0	8.7	31.4	8.3	8.2	87	1
3.0	8.7	31.5	8.3	8.2	87	1
4.0	8.7	31.6	8.3	8.2	87	1
5.0	8.7	31.6	8.3	8.2	87	1
6.0	8.6	31.6	8.3	8.2	87	1
7.0	-	-	-	-	-	-
8.0	-	-	-	-	-	-
9.0	-	-	-	-	-	-
10.0	-	-	-	-	-	-
11.0	-	-	-	-	-	-
12.0	-	-	-	-	-	-
13.0	-	-	-	-	-	-
14.0	-	-	-	-	-	-
15.0	-	-	-	-	-	-
B-2.0	8.7	31.7	8.3	8.2	87	1
B-1.0	8.7	31.8	8.3	8.1	86	2
B-0.5	8.8	31.8	8.3	8.1	86	2

調査地点		St.4				
時刻		11:42				
水深(m)		11.6				
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサ))
0.5	8.5	31.2	8.3	8.3	87	1
1.0	8.5	31.3	8.3	8.4	88	1
2.0	8.5	31.3	8.3	8.4	88	1
3.0	8.4	31.3	8.3	8.4	88	1
4.0	8.4	31.3	8.3	8.4	88	1
5.0	8.4	31.3	8.3	8.4	88	1
6.0	8.5	31.4	8.3	8.4	88	1
7.0	8.4	31.4	8.3	8.3	87	1
8.0	8.5	31.5	8.3	8.3	87	1
9.0	8.5	31.5	8.3	8.2	86	1
10.0	-	-	-	-	-	-
11.0	-	-	-	-	-	-
12.0	-	-	-	-	-	-
13.0	-	-	-	-	-	-
14.0	-	-	-	-	-	-
15.0	-	-	-	-	-	-
B-2.0	8.5	31.5	8.3	8.2	86	2
B-1.0	8.6	31.7	8.3	8.1	86	2
B-0.5	8.6	31.7	8.3	8.1	86	2

表 4-1-1-4 定点監視野帳

項目	単位	層	調査地点			
			St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査日			2月8日	2月8日	2月8日	2月8日
調査開始時刻			10:42	11:15	10:08	11:42
天気・雲量			晴・7	晴・5	晴・7	晴・5
風向・風力			N・1	N・1	N・1	N・1
風浪階級			1	1	1	1
気温	℃		7.6	8.0	7.4	7.7
水深	m		12.4	13.7	8.4	11.6
透明度	m		7.8	6.9	7.6	5.8
水色 (マンセル値)			deep green (5G3.5/7)	deep green (5G3.5/7)	deep green (5G3.5/7)	deep green (5G3.5/7)
赤潮の有無			無	無	無	無
油膜の有無			無	無	無	無
水温	℃	上	8.5	8.5	8.6	8.5
		下	8.7	8.7	8.7	8.5
透視度	cm	上	50<	50<	50<	50<
		下	50<	50<	50<	50<
流速	cm/sec	上	9.5	4.6	2.8	4.5
		下	4.7	7.2	4.0	7.2
流向	(°)	上	58	321	40	331
		下	78	167	230	13

注：測定層は、上層：海面下1m、下層：海底上2m

表4-1-1-5 定点監視調査結果と環境基準との比較

調査年月日：令和4年2月8日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 <sup>注)</sup>
pH	上層	○	○	○	○	7.0以上8.3以下
	下層	○	○	○	○	
COD	上層	○	○	○	○	8mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
DO	上層	○	○	○	○	2mg/L 以上
	下層	○	○	○	○	
全窒素	上層	○	○	○	○	1mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
全リン	上層	○	○	○	○	0.09mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	

備考) ○：基準内      ×：基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型、IV類型に該当。

表4-1-1-6 定点監視調査結果（健康項目）と環境基準との比較

調査年月日：令和4年2月8日

項目\地点番号	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 <sup>注1)</sup>
カドミウム	○	○	○	○	0.003mg/L以下
全シアン	○	○	○	○	検出されないこと <sup>注2)</sup>
鉛	○	○	○	○	0.01mg/L以下
六価クロム	○	○	○	○	0.05mg/L以下
砒素	○	○	○	○	0.01mg/L以下
総水銀	○	○	○	○	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	○	○	○	○	検出されないこと
PCB	○	○	○	○	検出されないこと
ジクロロメタン	○	○	○	○	0.02mg/L以下
四塩化炭素	○	○	○	○	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	○	○	○	○	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	○	○	○	○	0.1mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	○	○	○	○	0.04mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	○	○	○	○	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	○	○	○	○	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	○	○	○	○	0.002mg/L以下
チウラム	○	○	○	○	0.006mg/L以下
シマジン	○	○	○	○	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	○	○	○	○	0.02mg/L以下
ベンゼン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
セレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
硝酸性窒素	○	○	○	○	10mg/L以下
亜硝酸性窒素	○	○	○	○	
1,4-ジチオキサ	○	○	○	○	0.05mg/L以下
塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)	○	○	○	○	0.002mg/L以下 <sup>注3)</sup>

備考) ○：基準内 ×：基準外

注1) 環境基準値は「人の健康の保護に関する環境基準」による。

注2) 「検出されないこと」とは、分析方法に掲げる方法により分析した場合において、その結果が当該方法の定量下限値を下回ることをいう。

注3) 塩化ビニルモノマーについては、要監視項目の指針値と比較した。

#### 4-1-2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較

水質調査結果を表4-1-2-1～表4-1-2-4、補助監視野帳を表4-1-2-5～表4-1-2-8に示す。また、環境基準との比較を表4-1-2-9、監視基準との比較を表4-1-2-10に示す。

なお、護岸開口部のSt. S-1とSt. S-2における濁度の監視基準は、バックグラウンドの最低値との差が上層は+3度（カオリン）未満、下層は+11度（カオリン）未満としている。

#### ・ 2月1日

##### 1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

##### 2) 現場機器測定

pHは、St. S-2の上層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

#### ・ 2月8日

##### 1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

##### 2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

##### 3) 採水分析項目

SSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

VSSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

#### ・ 2月15日

##### 1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

##### 2) 現場機器測定

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

・ 2月24日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pHは、全地点の上層、St. S-1、S-2、B-3の下層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、St. S-2の下層においてやや高い値がみられたが、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

表 4-1-2-1 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和4年2月1日

項目\地点番号	St. S-1	St. S-2	最小値 ~ 最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻	09 : 38	09 : 30	—	09 : 00	09 : 08	09 : 19	—
水温 (℃)	上層	9.9	9.7 ~ 9.9	10.3	10.2	10.0	10.2
	下層	10.8	10.6 ~ 10.8	10.7	10.7	10.0	10.5
塩分	上層	31.7	31.5 ~ 31.7	31.8	31.8	31.6	31.7
	下層	32.1	32.0 ~ 32.1	32.1	32.1	31.8	32.0
濁度 (カリン)	上層	2	1 ~ 2	2	2	1	2
	下層	2	2 ~ 2	3	3	2	3
pH	上層	8.3	8.3 ~ 8.4	8.3	8.3	8.3	—
	下層	8.2	8.2 ~ 8.2	8.2	8.2	8.3	—
備考							

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

表 4-1-2-2 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和4年2月8日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値	
調査時刻		09 : 50	09 : 40	—			09 : 00	09 : 18	09 : 30	—	
水温 (°C)	上層	8.7	8.5	8.5	～	8.7	8.5	8.5	8.3	8.4	
	下層	8.9	8.5	8.5	～	8.9	9.2	9.2	8.4	8.9	
塩分	上層	31.5	31.4	31.4	～	31.5	31.4	31.4	31.4	31.4	
	下層	31.9	31.7	31.7	～	31.9	32.2	32.1	31.6	32.0	
濁度 度(カリン)	上層	1	1	1	～	1	1	1	1	1	
	下層	1	1	1	～	1	1	1	2	1	
pH	上層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—	
	下層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.2	—	
SS(mg/L)	上層	1	1	1	～	1	2	1	1	1	
	下層	1	1	1	～	1	2	1	1	1	
VSS(mg/L)	上層	<1	1	<1	～	1	1	1	1	1	
	下層	<1	<1	<1	～	<1	2	<1	1	1	
備 考											

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m  
 平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。(全地点が下限値未満の場合を除く。)



表 4-1-2-3 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和4年2月15日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 31	09 : 24	—			09 : 00	09 : 08	09 : 18	—
水温 (℃)	上層	9.3	9.2	9.2	～	9.3	9.6	9.6	9.4	9.5
	下層	9.9	9.6	9.6	～	9.9	10.0	9.7	9.5	9.7
塩分	上層	32.0	31.8	31.8	～	32.0	32.2	32.1	32.0	32.1
	下層	32.3	32.2	32.2	～	32.3	32.4	32.3	32.1	32.3
濁度 (カリン)	上層	1	1	1	～	1	1	3	1	2
	下層	1	2	1	～	2	2	3	2	2
pH	上層	8.2	8.3	8.2	～	8.3	8.2	8.2	8.2	—
	下層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.2	—
備考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

表 4-1-2-4 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和4年2月24日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		10 : 42	10 : 29	-			09 : 48	10 : 06	10 : 19	-
水温 (℃)	上層	8.1	7.9	7.9	～	8.1	7.8	7.9	7.8	7.8
	下層	7.5	8.1	7.5	～	8.1	8.5	8.3	7.9	8.2
塩分	上層	31.5	31.2	31.2	～	31.5	31.3	31.5	31.2	31.3
	下層	31.5	31.6	31.5	～	31.6	32.0	31.9	31.6	31.8
濁度 (カリン)	上層	2	1	1	～	2	2	2	2	2
	下層	2	4	2	～	4	3	3	2	3
pH	上層	8.4	8.4	8.4	～	8.4	8.4	8.4	8.4	-
	下層	8.4	8.4	8.4	～	8.4	8.3	8.3	8.4	-
備考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底上2m

表 4-1-2-5 補助監視野帳

令和4年2月1日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 38	09 : 30	09 : 00	09 : 08	09 : 19
天気・雲量		晴・2	晴・2	晴・2	晴・2	晴・2
風向・風力		SW・3	SW・3	SW・3	SW・3	SW・2
風浪階級		2	2	2	2	1
気温(℃)		7.7	7.7	7.6	7.9	7.9
水深(m)		11.6	11.1	13.8	14.0	9.0
透明度(m)		3.1	4.4	4.0	4.5	3.6
水色		dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green
(マンセル値)		10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温(℃)	上層	9.9	9.7	10.3	10.2	10.0
	下層	10.8	10.6	10.7	10.7	10.0
pH(-)	上層	8.3	8.4	8.3	8.3	8.3
	下層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.3
塩分(-)	上層	31.7	31.5	31.8	31.8	31.6
	下層	32.1	32.0	32.1	32.1	31.8
DO (mg/L)	上層	8.8	9.6	8.2	8.2	8.9
	下層	6.9	7.2	7.2	7.2	8.5
DO飽和度 (%)	上層	96	104	90	90	97
	下層	77	80	80	80	93
濁度 (度(カリン))	上層	2	1	2	2	1
	下層	2	2	3	3	2
濁度 (BGとの差)	上層	+1	0	バックグラウンド(BG)値=		1
	下層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		2

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度(バックグラウンド値との差)は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満(&lt;1)は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-6 補助監視野帳

令和4年2月8日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 50	09 : 40	09 : 00	09 : 18	09 : 30
天気・雲量		晴・7	晴・7	曇・9	曇・9	晴・8
風向・風力		N・1	N・1	N・1	N・1	N・1
風浪階級		1	1	1	1	1
気温(℃)		7.9	7.2	6.1	6.4	6.6
水深(m)		11.1	10.5	13.0	13.5	8.4
透明度(m)		6.9	6.5	7.5	7.7	5.8
水色		deep green	deep green	deep green	deep green	deep green
(マンセル値)		5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温(℃)	上層	8.7	8.5	8.5	8.5	8.3
	下層	8.9	8.5	9.2	9.2	8.4
pH(-)	上層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	下層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
塩分(-)	上層	31.5	31.4	31.4	31.4	31.4
	下層	31.9	31.7	32.2	32.1	31.6
DO (mg/L)	上層	8.2	8.4	8.4	8.4	8.3
	下層	7.8	8.1	8.2	7.9	8.1
DO飽和度 (%)	上層	87	88	88	88	87
	下層	83	85	88	85	85
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	1	1
	下層	1	1	1	1	2
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		1
	下層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		1

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度(バックグラウンド値との差)は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、  
下限値未満(<1)は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-7 補助監視野帳

令和4年2月15日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 31	09 : 24	09 : 00	09 : 08	09 : 18
天気・雲量		晴・8	晴・7	晴・2	晴・2	晴・4
風向・風力		-・0	-・0	N・2	N・1	-・0
風浪階級		1	1	1	1	1
気温(℃)		7.1	6.8	6.5	6.1	6.9
水深(m)		11.2	11.0	13.6	13.8	8.9
透明度(m)		5.2	5.7	6.5	3.4	5.4
水色		dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green
(マンセル値)		10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温(℃)	上層	9.3	9.2	9.6	9.6	9.4
	下層	9.9	9.6	10.0	9.7	9.5
pH(-)	上層	8.2	8.3	8.2	8.2	8.2
	下層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
塩分(-)	上層	32.0	31.8	32.2	32.1	32.0
	下層	32.3	32.2	32.4	32.3	32.1
DO (mg/L)	上層	7.8	8.0	7.8	7.7	7.9
	下層	7.4	7.6	7.6	7.5	7.7
DO飽和度 (%)	上層	84	86	85	84	85
	下層	81	82	83	82	83
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	3	1
	下層	1	2	2	3	2
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		1
	下層	-1	0	バックグラウンド(BG)値=		2

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度(バックグラウンド値との差)は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満(&lt;1)は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表4-1-2-8 補助監視野帳

令和4年2月24日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		10 : 42	10 : 29	09 : 48	10 : 06	10 : 19
天気・雲量		晴・3	晴・3	晴・3	晴・3	晴・3
風向・風力		NW・2	NW・3	NW・3	NW・2	NW・3
風浪階級		2	2	3	3	1
気温(℃)		4.5	4.5	4.7	4.3	4.8
水深(m)		8.6	10.5	13.3	13.6	8.5
透明度(m)		3.4	3.8	4.2	3.5	4.0
水色		grayish	grayish	grayish	grayish	grayish
		olive	olive	olive	olive	olive
		green	green	green	green	green
(マンセル値)		5GY3/3	5GY3/3	5GY3/3	5GY3/3	5GY3/3
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温(℃)	上層	8.1	7.9	7.8	7.9	7.8
	下層	7.5	8.1	8.5	8.3	7.9
pH(-)	上層	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4
	下層	8.4	8.4	8.3	8.3	8.4
塩分(-)	上層	31.5	31.2	31.3	31.5	31.2
	下層	31.5	31.6	32.0	31.9	31.6
DO (mg/L)	上層	9.8	10	10	9.7	10
	下層	9.4	9.3	8.7	8.8	9.1
DO飽和度 (%)	上層	102	104	103	101	106
	下層	97	97	92	93	95
濁度 (度(カリン))	上層	2	1	2	2	2
	下層	2	4	3	3	2
濁度 (BGとの差)	上層	0	-1	バックグラウンド(BG)値=		2
	下層	0	+2	バックグラウンド(BG)値=		2

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底上2m

濁度(バックグラウンド値との差)は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満(&lt;1)は「1」として計算した。

濁度の監視基準(バックグラウンド値との差)は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-9 補助監視調査結果の環境基準との比較

調査日	項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
2月1日	pH	上層	○	×	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月8日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月15日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月24日	pH	上層	×	×	×	×	×
		下層	×	×	○	○	×
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○

備考) ○ : 基準内      × 基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型に該当。

pH : 7.0 以上 8.3 以下      DO : 2 mg/L 以上

表 4-1-2-10 補助監視点の濁度(バックグラウンド値との差)

調査日	項目\地点番号	St.S-1	評価	St.S-2	評価	バックグラウンド(BG)値
2月1日	上層	+1	○	0	○	1
	下層	0	○	0	○	2
2月8日	上層	0	○	0	○	1
	下層	0	○	0	○	1
2月15日	上層	0	○	0	○	1
	下層	-1	○	0	○	2
2月24日	上層	0	○	-1	○	2
	下層	0	○	+2	○	2

備考) ○ : 基準内      × 基準外

注 ) 濁度 (BG との差) の計算は、「各点各層濁度」 - 「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (< 1) は「1」として計算した。



#### 4-2 底質調査結果

底質調査結果のうち、含有試験の結果を表4-2-1、溶出試験の結果を表4-2-2、底質調査野帳を表4-2-3に示す。

粒度組成の結果は、St. 1、3は砂分が高く、St. 2、4はシルト分および粘土分が高い土質であった。

その他の項目では、特に高い値はみられなかった。

溶出試験の分析結果は、フッ化物以外の項目において報告下限値未満であり、フッ化物を含めて水底土砂の判定基準値未満であった。

表4-2-1 底質（含有試験）調査結果

調査年月日：令和4年2月15日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:38	11:40	9:38	12:32		—		—
粒度組成 (%)	粗礫分 (19~75mm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	～	0.0	0.0
	中礫分 (4.75~19mm)	4.8	0.0	12.0	8.6	0.0	～	12.0	6.4
	細礫分 (2.00~4.75mm)	10.5	0.4	16.4	4.8	0.4	～	16.4	8.0
	粗砂分 (0.850~2.00mm)	13.7	1.3	12.9	2.5	1.3	～	13.7	7.6
	中砂分 (0.250~0.850mm)	23.0	2.2	35.1	3.5	2.2	～	35.1	16.0
	細砂分 (0.075~0.250mm)	13.6	3.9	12.7	8.0	3.9	～	13.6	9.6
	シルト分 (0.005~0.075mm)	10.9	20.1	3.8	28.3	3.8	～	28.3	15.8
	粘土分 (0.005mm以下)	23.5	72.1	7.1	44.3	7.1	～	72.1	36.8
COD (mg/g 乾泥)		7.4	15	3.3	14	3.3	～	15	10
全硫化物 (mg/g 乾泥)		0.12	0.28	0.05	0.21	0.05	～	0.28	0.17
全窒素 (mg/g 乾泥)		0.7	1.4	0.26	1.2	0.26	～	1.4	0.9
全リン (mg/g 乾泥)		0.22	0.31	0.16	0.28	0.16	～	0.31	0.24
強熱減量 (%)		3.9	3.9	1.8	7.0	1.8	～	7.0	4.2
含水率 (%)		43.3	72.7	24.3	57.0	24.3	～	72.7	49.3
pH		7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	～	7.9	7.9
総水銀 (mg/kg)		0.14	0.09	0.03	0.10	0.03	～	0.14	0.09
PCB (mg/kg)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
有機塩素化合物 (mg/kg)		<4	<4	<4	<4	<4	～	<4	<4
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/g)		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5
酸化還元電位 (mV)		-153	-188	2	-219	-219	～	2	-140

注1) 酸化還元電位の値は、標準水素電極の値に換算したものである。

表4-2-2 底質（溶出試験）調査結果

調査年月日：令和4年2月15日

項目\地点番号	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機りん化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
六価クロム化合物	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
PCB	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
銅又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
フッ化物	mg/L	0.2	0.4	0.1	0.4
トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
バリウム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
クロム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 4 - 2 - 3 底質調査野帳

調査年月日：令和4年2月15日

調 査 点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査開始時刻	10:38	11:40	9:38	12:32
天気・雲量	晴 ・ 8	晴 ・ 7	晴 ・ 8	晴 ・ 7
風向・風力	- ・ 0	NW ・ 2	- ・ 0	W ・ 2
風浪階級	1	1	1	1
気温 (°C)	8.4	9.0	7.1	10.5
水深 (m)	12.6	13.7	9.5	12.0
臭 気	中硫化水素臭	中硫化水素臭	微硫化水素臭	中硫化水素臭
泥温 (°C)	10.0	10.1	9.8	10.2
性 状	砂泥	泥	砂泥	泥
泥 色	olive black	olive black	olive black	olive black
	7.5Y3/2	7.5Y3/1	7.5Y3/1	7.5Y3/2
夾 雑 物	貝殻片	-	貝殻片	-
酸化還元電位 (mV)	-153	-188	2	-219
特記事項				

#### 4-3 水生生物調査結果

##### 4-3-1 植物プランクトン調査結果

植物プランクトン調査結果の概要を表4-3-1-1、出現種一覧表を表4-3-1-2、出現種ごとの細胞数を表4-3-1-3、水平分布を図4-3-1に示す。

上層の種類数は19~23種類の範囲にあり、St. 1で最も多かった。下層の種類数は20~22種類の範囲にあり、St. 3で最も多かった。総種類数は44種類であった。

上層の細胞数は132,560~207,320細胞/Lの範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均細胞数は164,020細胞/Lであった。下層の細胞数は163,520~240,400細胞/Lの範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均細胞数は197,680細胞/Lであった。

上層の沈殿量は0.25~1.15mL/Lの範囲にあった。下層の沈殿量は0.10~1.65mL/Lの範囲にあった。

主要種のうち最も多く出現したのは、上層、下層ともに全地点で珪藻綱の *Skeletonema costatum* (スケルトネ コスターツム) であった。全地点平均の主要種は、上層、下層ともに全地点で珪藻綱の *Skeletonema costatum* (スケルトネ コスターツム) であり、上層で88.9%、下層で88.8%を占めていた。

主要種は内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

##### 4-3-2 動物プランクトン調査結果

動物プランクトン調査結果の概要を表4-3-2-1、出現種一覧を表4-3-2-2、出現種ごとの個体数を表4-3-2-3、水平分布を図4-3-2に示す。

種類数は19~24種類の範囲にあり、St. 2で最も多かった。総種類数は28種類であった。

個体数は5,404~15,980個体/m<sup>3</sup>の範囲にあり、St. 4で最も多かった。全地点の平均個体数は11,643個体/m<sup>3</sup>であった。

沈殿量は3.9~12.4mL/m<sup>3</sup>の範囲にあり、St. 4で最も多かった。全地点の平均沈殿量は8.3mL/m<sup>3</sup>であった。

主要種のうち最も多く出現したのは、St. 1、2、4では節足動物門のカイアシ目のノープリウス幼生、St. 3では繊毛虫門のビンガタカラムシであった。全地点平均の主要種は、節足動物門のカイアシ目のノープリウス幼生、繊毛虫門のビンガタカラムシ、袋形動物門のドロワムシ属であり、このうちカイアシ目のノープリウス幼生が27.2%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

#### 4-3-3 底生生物調査結果

底生生物調査結果の概要を表4-3-3-1、出現種一覧を表4-3-3-2、個体数および湿重量をそれぞれ表4-3-3-3、表4-3-3-4、水平分布を図4-3-3に示す。

種類数は5~30種類の範囲にあり、St. 3で最も多かった。総種類数は42種類であった。

個体数は5~506個体/0.1m<sup>2</sup>の範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均個体数は175個体/0.1m<sup>2</sup>であった。

湿重量は0.76~7.85g/0.1m<sup>2</sup>の範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均湿重量は4.06g/0.1m<sup>2</sup>であった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. 1では環形動物門の *Paraprionospio* sp. (A型) (ハラプリオスピオ属(A型))、St. 2では軟体動物門のカノコキセワタ、環形動物門の *Nectoneanthes latipoda* (ネクトネアトスラチポダ)、カタマガリギボシイソメ、*Pseudopolydora* sp. (シュートポリドゥラ属)、*Capitella* sp. (キャピテラ属) が各1個体ずつ出現した。St. 3では環形動物門の *Pseudopolydora* sp. (シュートポリドゥラ属)、St. 4では軟体動物門のシズクガイ、環形動物門の *Paraprionospio* sp. (A型) が各5個体ずつ出現した。

全地点平均の主要種は *Paraprionospio* sp. (A型) (ハラプリオスピオ属(A型))、*Pseudopolydora* sp. (シュートポリドゥラ属) であり、このうち *Paraprionospio* sp. (A型) が26.6%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

#### 4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果

魚卵調査結果の概要を表4-3-4-1、出現種一覧を表4-3-4-2、出現種ごとの個数を表4-3-4-3、水平分布を図4-3-4-1に示す。

また、稚仔魚調査結果の概要を表4-3-4-4、出現種一覧を表4-3-4-5、出現種ごとの個体数を表4-3-4-6、水平分布を図4-3-4-2に示す。

##### 4-3-4-1 魚卵

出現しなかった。

当海域における過年度の調査において、冬季調査では魚卵の出現数は非常に少ない、あるいは全く出現しない状況であり、今回の調査においても過年度と同様の状況であった。

##### 4-3-4-2 稚仔魚

種類数は2～3種類の範囲にあり、総種類数は3種類であった。

個体数は24～654 個体/1,000m<sup>3</sup>の範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均個体数は213 個体/1,000m<sup>3</sup>であった。

主要種のうち最も多く出現したのは、全地点でカサゴであった。全地点平均の主要種はカサゴであり、97.9%を占めていた。

主要種は内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

#### 4-3-5 付着生物調査結果

ベルトトランセクト法による付着生物出現種一覧を表4-3-5-1、付着生物(植物)の藻長測定結果を表4-3-5-2、調査測点断面模式を図4-3-5-1、主な付着生物の鉛直分布を図4-3-5-2に示す。

坪刈り法による付着生物(植物)調査結果の概要を表4-3-5-3、出現種一覧を表4-3-5-4、出現種ごとの湿重量を表4-3-5-5に示す。また、付着生物(動物)調査結果の概要を表4-3-5-6、出現種一覧を表4-3-5-7、出現種ごとの個体数および湿重量をそれぞれ表4-3-5-8、表4-3-5-9に示す。

#### 4-3-5-1 調査地点概要

調査地点は阪南港阪南2区内にある防波堤に位置する。St. Aはコンクリートケーソンで、海底付近は砂泥が堆積していた。St. Bは捨て石式傾斜堤で上部は被覆石が積まれている。海底付近では砂泥が堆積していた。

#### 4-3-5-2 ベルトトランセクト法(目視観察)

各観察枠で、被度が10%以上、または個体数が10個体以上の出現種について以下に示す。

##### ① 植物

St. Aでは、被度が10%以上の出現種はみられなかった。

St. Bでは、平均水面付近にアマノリ属が、水深0.5m付近にオキツノリが、水深1.0m付近にムカデノリが、水深1.5m付近に珪藻綱が、水深2.5mから5.0m付近にダミア属が、水深3.5m付近にワカメが、水深3.5mから4.5m付近にシキンノリが、水深5.0mから5.5m付近にイギス科が、水深6.5m付近にカバノリが生育していた。

##### ② 動物

St. Aでは、平均水面上1.0m付近にアラレタマキビガイ、イワフジツボが、平均水面から水深0.5m付近にカンザシゴカイ科が、平均水面付近に普通海綿綱が、水深1.0mから3.5m付近にフサコケムシが、水深1.0m、7.0m付近に群体性ホヤ類が、水深6.5m付近に単体性ホヤ類が、水深7.0m付近にコケムシ綱、アミコケムシ科が生息していた。

St. Bでは、水深0.5mから1.0m付近にカンザシゴカイ科が生息していた。また水深7.0m付近に泥巣が確認された。



#### 4-3-5-3 坪刈り法

##### ① 植物

St. Aの各層の種類数は1～8種類、St. Bの各層の種類数は5～17種類の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。総種類数は25種類であった。

St. Aの各層の湿重量は0.40～3.22g/0.09m<sup>2</sup>、St. Bの各層の湿重量は10.50～33.79g/0.09m<sup>2</sup>の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。全地点の平均湿重量は12.19g/0.09m<sup>2</sup>であった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層ではアマノリ属、St. Aの中層および下層ではイギス属、St. Bの上層ではアマノリ属、St. Bの中層ではムカデノリ、St. Bの下層ではタマハハキモクであった。全地点平均の主要種は、ムカデノリ、タマハハキモク、アマノリ属、サナダグサ、ショウジョウケノリであり、このうちムカデノリが19.7%を占めていた

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

##### ② 動物

St. Aの各層の種類数は39～44種類、St. Bの各層の種類数は13～49種類の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。総種類数は103種類であった。

St. Aの各層の個体数は1,129～3,102個体/0.09m<sup>2</sup>、St. Bの各層の個体数は49～4,213個体/0.09m<sup>2</sup>の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。全地点の平均個体数は2,177個体/0.09m<sup>2</sup>であった。

St. Aの各層の湿重量は、50.52～356.45g/0.09m<sup>2</sup>、St. Bの各層の湿重量は3.50～85.38g/0.09m<sup>2</sup>の範囲にあり、St. Aの下層で最も多かった。全地点の平均湿重量は119.15g/0.09m<sup>2</sup>であった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層では刺胞動物門のタテジマイソギンチャク、St. Aの中層、下層では環形動物門のドデカケリア属、St. Bの上層では節足動物門のノルマンタナイス、St. Bの中層、下層では環形動物門のエゾカサネカンザシであった。全地点平均の主要種は、エゾカサネカンザシ、ドデカケリア属で、このうちエゾカサネカンザシは30.2%を占めていた。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層では刺胞動物門のタテジマイソギンチャク、St. Aの中層では触手動物門のトゲコケムシ科、下層では触手動物門のフサコケムシ科、St. Bの上層では軟体動物門のキクノハナガイ、St. Bの中層、下層では環形動物門のエゾカサネカンザシであった。全地点平均の主要種は、フサコケムシ科、トゲコケムシ科、原索動物門のピウラ科で、このうちフサコケムシ科は22.3%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

#### 4-3-6 漁獲対象動植物調査結果

刺網調査結果の概要を表4-3-6-1、主要種を表4-3-6-2、種類ごとの個体数および湿重量を表4-3-6-3、種類ごとの測定結果概要を表4-3-6-4、個体ごとの測定結果（一種類あたり上限約50個体）を表4-3-6-5に示す。また、底引網調査結果の概要を表4-3-6-6、主要種を表4-3-6-7、種類ごとの個体数および湿重量を表4-3-6-8、種類ごとの測定結果概要を表4-3-6-9、個体ごとの測定結果（一種類あたり上限約50個体）を表4-3-6-10に示す。

##### 4-3-6-1 刺網

種類数は魚類が7種類、甲殻類が3種類であり、総種類数は10種類であった。

個体数は1網あたり、魚類が14個体、甲殻類が4個体であり、総個体数は18個体であった。

湿重量は1網あたり、魚類が4,845.7g、甲殻類が88.5gであり、総湿重量は4,934.2gであった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではマコガレイ、甲殻類ではフタホシイシガニであった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではマコガレイ、甲殻類ではイシガニであった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

##### 4-3-6-2 底引網

種類数は魚類が7種類、甲殻類が12種類、頭足類が1種類、その他が4種類であり、総種類数は24種類であった。

個体数は1網あたり、魚類が36個体、甲殻類が413個体、頭足類が1個体、その他が46個体であり、総個体数は496個体であった。

湿重量は1網あたり、魚類が8,309.8g、甲殻類が656.6g、頭足類が16.0g、その他が1,248.5gであり、総湿重量は10,230.9gであった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではハタタテヌメリ、甲殻類ではフタホシイシガニ、頭足類ではジンドウイカ、その他ではトリガイであった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではアカエイ、甲殻類ではフタホシイシガニ、頭足類ではジンドウイカ、その他ではトリガイであった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

表 4-3-1-1(1) 植物プランクトン調査結果概要(上層) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	(最小 ~ 最大)
種類数	23	21	19	20	40 ( 19 ~ 23 )
細胞数	132,560	144,660	207,320	171,540	164,020 ( 132,560 ~ 207,320 )
沈殿量 (mL)	0.25	0.30	0.85	1.15	0.64 ( 0.25 ~ 1.15 )
主要種 細胞数 (カッコ内は組成比：%)	スケルトネマ コスターツム 118,800(89.6)	スケルトネマ コスターツム 126,000(87.1)	スケルトネマ コスターツム 183,600(88.6)	スケルトネマ コスターツム 154,800(90.2)	スケルトネマ コスターツム 145,800(88.9)

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 3. 細胞数、沈殿量は1Lあたりの数値で示す。

表4-3-1-1(2) 植物プランクトン調査結果概要(下層) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	21	20	22	21	37 ( 20 ~ 22 )
細胞数	240,400	163,520	219,860	166,940	197,680 ( 163,520 ~ 240,400 )
沈殿量 (mL)	0.40	0.10	1.20	1.65	0.84 ( 0.10 ~ 1.65 )
主要種 細胞数 (カッコ内は組成比：%)	スケレトネマ コスターツム 223,200(92.8)	スケレトネマ コスターツム 144,000(88.1)	スケレトネマ コスターツム 201,600(91.7)	スケレトネマ コスターツム 133,200(79.8)	スケレトネマ コスターツム 175,500(88.8)

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 3. 細胞数、沈殿量は1Lあたりの数値で示す。

表4-3-1-2 植物プランクトン出現種一覧 [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

番号	門	綱	目	科	学名	和名、読み方		
1	クリプト植物	クリプト藻	クリプトモナス	—	CRYPTOMONADALES	クリプトモナス目		
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	プロコケントム	プロコケントム	<i>Prorocentrum micans</i>			
3					<i>Prorocentrum minimum</i>			
4			ディノフィジス	ディノフィジス	<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>			
5					<i>Dinophysis acuminata</i>			
6			ギムノテニウム	ギムノテニウム	<i>Gymnodinium sanguineum</i>			
7					<i>Gyrodinium</i> spp.			
8					Gymnodiniaceae	ギムノテニウム科		
9			ノクティルカ	ノクティルカ	<i>Noctiluca scintillans</i>			
10			ペリテニウム	ケラチウム	<i>Ceratium furca</i>			
11					<i>Ceratium fusus</i>			
12					<i>Ceratium kofoidii</i>			
13					<i>Ceratium tripos</i>			
14			ペリテニウム		<i>Protoperidinium bipes</i>			
15					<i>Protoperidinium depressum</i>			
16					<i>Protoperidinium pallidum</i>			
17					<i>Protoperidinium pellucidum</i>			
18					カルキテニナ	<i>Scrippsiella trochoidea</i>		
19			黄色植物	珪藻	円心	タシオシラ	<i>Detonula pumila</i>	
20	<i>Skeletonema costatum</i>	スケルトネマ コスターナム						
21					<i>Thalassiosira rotula</i>			
22					<i>Thalassiosira</i> spp.			
23					メロシラ	<i>Leptocylindrus danicus</i>		
24					コスキノテニウス	<i>Coscinodiscus wailesii</i>		
25						<i>Coscinodiscus</i> spp.		
26					ハリオベルガ	<i>Actinopterychus senarius</i>		
27					リソソレニア	<i>Guinardia flaccida</i>		
28						<i>Rhizosolenia fragilissima</i>		
29						<i>Rhizosolenia setigera</i>		
30						<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>		
31					キートケロス	<i>Chaetoceros affine</i>		
32						<i>Chaetoceros danicum</i>		
33						<i>Chaetoceros debile</i>		
34						<i>Chaetoceros</i> spp.		
35					リトスミカム	<i>Ditylum brightwellii</i>		
36		羽状			テイトマ	<i>Thalassionema nitzschioides</i>		
37						<i>Thalassiothrix frauenfeldii</i>		
38						ナウイキュラ	<i>Navicula</i> spp.	
39							<i>Pleurosigma</i> spp.	
40						ニツチア	<i>Nitzschia longissima</i>	
41							<i>Nitzschia pungens</i>	
42					<i>Nitzschia</i> spp.			
43	ミドリムシ植物	ミドリムシ藻	—	—	EUGLENOPHYCEAE	ミドリムシ藻綱		
44	緑色植物	プラシノ藻	—	—	PRASINOPHYCEAE	プラシノ藻綱		

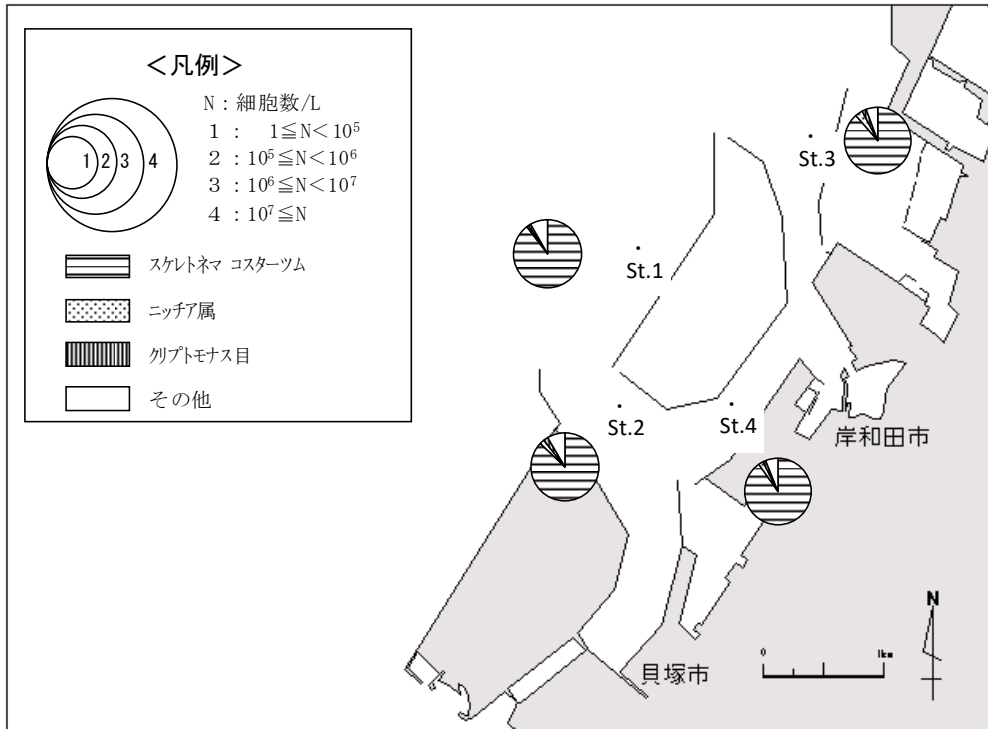
表4-3-1-3 植物プランクトン調査結果(細胞数) [令和3年度冬季分]

		調査年月日：令和4年2月8日												
番号	学名	調査点		St. 1		St. 2		St. 3		St. 4		合計		
		層	層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	全層
1	CRYPTOMONADALES			1,600	1,600	3,200	800	4,400	4,000	2,400	5,200	11,600	11,600	23,200
2	<i>Proocentrum micans</i>			20	100	20				100	160	140	340	480
3	<i>Proocentrum minimum</i>										40		40	40
4	<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>							80		200		280		280
5	<i>Dinophysis acuminata</i>				60		240				100	20	400	420
6	<i>Gymnodinium sanguineum</i>					20						20		20
7	<i>Gyrodinium</i> spp.			460	300	180	120	600	1,000	520	660	1,760	2,080	3,840
8	Gymnodiniaceae									200		200		200
9	<i>Noctiluca scintillans</i>										20		20	20
10	<i>Ceratium furca</i>			220	140	80	100	560	700	1,480	940	2,340	1,880	4,220
11	<i>Ceratium fusus</i>			900	420	180	320	100	1,020	480	1,300	1,660	3,060	4,720
12	<i>Ceratium kofoidii</i>			60						60	100	160	60	220
13	<i>Ceratium tripos</i>				160	80	40		40		120	80	360	440
14	<i>Protoperidinium bipes</i>			80			80	40				120	80	200
15	<i>Protoperidinium depressum</i>					40	60					40	60	100
16	<i>Protoperidinium pallidum</i>									40		40		40
17	<i>Protoperidinium pellucidum</i>				200			140	200			140	400	540
18	<i>Scrippsiella trochoidea</i>			2,000	1,200			1,200				3,200	1,200	4,400
19	<i>Detonula pumila</i>				800	800	1,200		2,000			800	4,000	4,800
20	<i>Skeletonema costatum</i>			118,800	223,200	126,000	144,000	183,600	201,600	154,800	133,200	583,200	702,000	1,285,200
21	<i>Thalassiosira rotula</i>			1,280	240	80	2,400	480	300	140	800	1,980	3,740	5,720
22	<i>Thalassiosira</i> spp.			1,600	800	1,600	5,200	2,000	2,000	3,600	2,400	8,800	10,400	19,200
23	<i>Leptocylindrus danicus</i>				2,000				1,200	1,200		1,200	3,200	4,400
24	<i>Coscinodiscus wailesii</i>						20						20	20
25	<i>Coscinodiscus</i> spp.			420	200	2,800	360	400	860	340	4,000	3,960	5,420	9,380
26	<i>Actinopterychus senarius</i>				80				40				120	120
27	<i>Guinardia flaccida</i>			800				1,200	280			2,000	280	2,280
28	<i>Rhizosolenia fragilissima</i>				2,400		2,000		2,400	1,600		1,600	6,800	8,400
29	<i>Rhizosolenia setigera</i>			20	60			100	160	40		160	220	380
30	<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>			140		200					80	340	80	420
31	<i>Chaetoceros afflne</i>			860							2,400	860	2,400	3,260
32	<i>Chaetoceros danicum</i>					60	20					60	20	80
33	<i>Chaetoceros debile</i>					3,200	2,000	2,800			2,000	6,000	4,000	10,000
34	<i>Chaetoceros</i> spp.			800				800				1,600		1,600
35	<i>Ditylum brightwellii</i>									40		40		40
36	<i>Thalassionema nitzschioides</i>			160		460				220	1,600	840	1,600	2,440
37	<i>Thalassiothrix frauenfeldii</i>			100		140						100	140	240
38	<i>Navicula</i> spp.					800		1,200				2,000		2,000
39	<i>Pleurosigma</i> spp.			80			20		40		240	80	300	380
40	<i>Nitzschia longissima</i>					60			80			60	80	140
41	<i>Nitzschia pungens</i>			920	180				200			920	380	1,300
42	<i>Nitzschia</i> spp.			1,200	6,000	3,200	4,400	7,600	1,600	4,000	10,800	16,000	22,800	38,800
43	EUGLENOPHYCEAE			40	260					40	80	80	340	420
44	PRASINOPHYCEAE					1,600					800	1,600	800	2,400
	種類数			23	21	21	20	19	22	20	21	40	37	44
	合計			132,560	240,400	144,660	163,520	207,320	219,860	171,540	166,940	656,080	790,720	1,446,800

注：1. 細胞数の単位は 1L あたりの数値で示す。

2. 調査点合計の細胞数の単位は上層・下層は 4L あたり、全層は 8L あたりで示す。

【上層】



【下層】

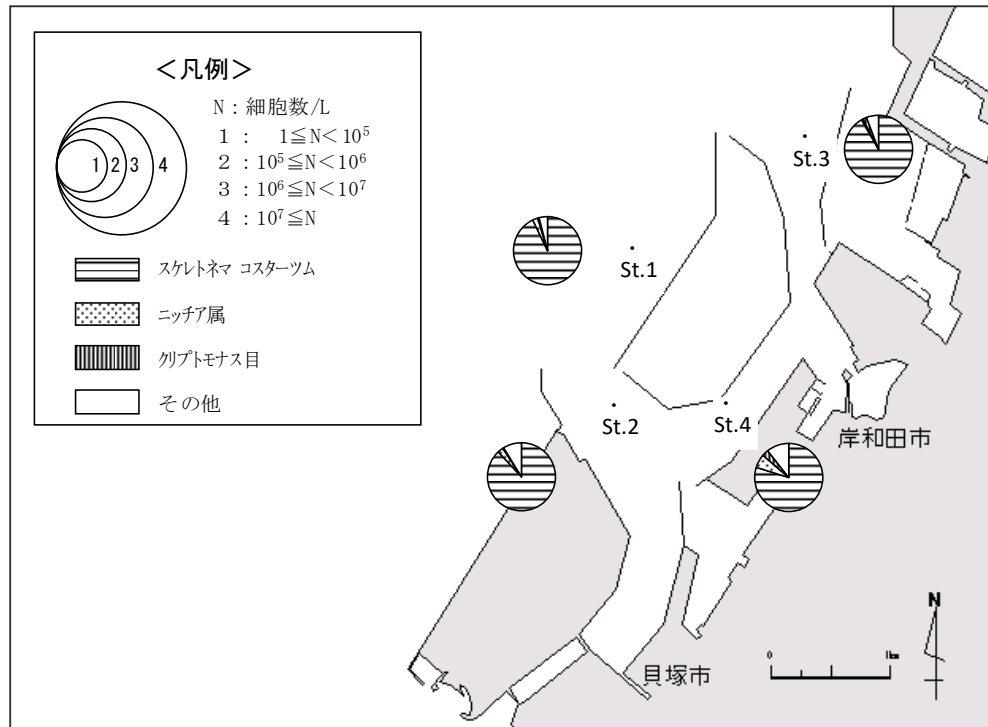


図 4-3-1 植物プランクトンの水平分布 [令和3年度冬季分]

表 4-3-2-1 動物プランクトン調査結果概要 [令和3年度冬季分]

調査年月日: 令和 4年 2月 8日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	20	24	19	21	28 ( 19 ~ 24 )
個体数	5,404	15,110	10,078	15,980	11,643 ( 5,404 ~ 15,980 )
沈殿量 (mL)	3.9	10.0	6.7	12.4	8.3 ( 3.9 ~ 12.4 )
主要種 個体数 (カッコ内は組成比:%)	カイアシ目のノーブ <sup>レ</sup> リス幼生 1,475 (27.3) オヨブ <sup>レ</sup> ウラ属 875 (16.2) ト <sup>ロ</sup> ロムシ属 600 (11.1) ハ <sup>ラ</sup> カラヌス属 538 (10.0)	カイアシ目のノーブ <sup>レ</sup> リス幼生 3,820 (25.3) ト <sup>ロ</sup> ロムシ属 2,697 (17.8) アカルティア属 1,742 (11.5)	ヒンガ <sup>ク</sup> カラムシ 2,385 (23.7) カイアシ目のノーブ <sup>レ</sup> リス幼生 2,308 (22.9) オヨブ <sup>レ</sup> ウラ属 1,487 (14.8) ハ <sup>ラ</sup> カラヌス属 1,026 (10.2)	カイアシ目のノーブ <sup>レ</sup> リス幼生 5,068 (31.7) ヒンガ <sup>ク</sup> カラムシ 1,926 (12.1) ワカレオタマホ <sup>キ</sup> 1,824 (11.4)	カイアシ目のノーブ <sup>レ</sup> リス幼生 3,168 (27.2) ヒンガ <sup>ク</sup> カラムシ 1,534 (13.2) ト <sup>ロ</sup> ロムシ属 1,278 (11.0)

- 注: 1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 3. 個体数、沈殿量は1m<sup>3</sup>あたりの数値で示す。



表4-3-2-2 動物プランクトン出現種一覧 [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	繊毛虫	多膜	少毛	スナカラムシ	<i>Tintinnopsis radix</i>	ホツスナカラムシ
2					<i>Tintinnopsis</i> sp.	スナカラムシ属
3				ファウ <sup>レ</sup> エラ	<i>Favella taraikaensis</i>	ビンカ <sup>レ</sup> カラムシ
4	袋形動物	ワムシ	コガ <sup>レ</sup> タワムシ	ト <sup>レ</sup> ロワムシ	<i>Synchaeta</i> sp.	ト <sup>レ</sup> ロワムシ属
5	軟体動物	マキカ <sup>レ</sup> イ	—	—	veliger of GASTROPODA	マキカ <sup>レ</sup> イ綱のウ <sup>レ</sup> エリジ <sup>レ</sup> キ <sup>レ</sup> 幼生
6		ニマイカ <sup>レ</sup> イ	—	—	umbo Larva of BIVALVIA	ニマイカ <sup>レ</sup> イ綱の殻頂期幼生
7	環形動物	コ <sup>レ</sup> カイ	—	—	nectochaeta of POLYCHAETA	コ <sup>レ</sup> カイ綱のネクトキ <sup>レ</sup> タ幼生
8	節足動物	甲殻	ミジ <sup>レ</sup> ンコ	オオメジ <sup>レ</sup> ンコ	<i>Evadne nordmanni</i>	ノルト <sup>レ</sup> マンエボ <sup>レ</sup> シジ <sup>レ</sup> ンコ
9					<i>Podon polyphemoides</i>	コウミオオ <sup>レ</sup> ミジ <sup>レ</sup> ンコ
10			カイ <sup>レ</sup> アシ	ハ <sup>レ</sup> ラカラス	<i>Paracalanus parvus</i>	ハ <sup>レ</sup> ラカラス ハ <sup>レ</sup> ル <sup>レ</sup> フ <sup>レ</sup> ス
11					<i>Paracalanus</i> sp.	ハ <sup>レ</sup> ラカラス属
12				セントロバ <sup>レ</sup> シ <sup>レ</sup> ェス	<i>Centropages abdominalis</i>	セントロバ <sup>レ</sup> シ <sup>レ</sup> ェス ア <sup>レ</sup> フ <sup>レ</sup> ト <sup>レ</sup> ミナリス
13					<i>Centropages</i> sp.	セントロバ <sup>レ</sup> シ <sup>レ</sup> ェス属
14				アカル <sup>レ</sup> テイ <sup>レ</sup> ア	<i>Acartia omorii</i>	アカル <sup>レ</sup> テイ <sup>レ</sup> ア オモリイ
15					<i>Acartia</i> sp.	アカル <sup>レ</sup> テイ <sup>レ</sup> ア属
16				テモ <sup>レ</sup> ア	<i>Eurytemora</i> sp.	ユウリテモ <sup>レ</sup> ア属
17				オイトナ	<i>Oithona davisae</i>	オイトナ タ <sup>レ</sup> ウ <sup>レ</sup> イサエ
18					<i>Oithona similis</i>	オイトナ シミリス
19					<i>Oithona</i> sp.	オイトナ属
20				コリケウス	<i>Corycaeus</i> sp.	コリケウス属
21				エクト <sup>レ</sup> イノソマ	<i>Microsetella norvegica</i>	ミクロセテ <sup>レ</sup> ラ ノル <sup>レ</sup> ウ <sup>レ</sup> エキ <sup>レ</sup> カ
22				—	HARPACTICOIDA	ハルバ <sup>レ</sup> クチクス亜目
23				—	nauplius of COPEPODA	カイ <sup>レ</sup> アシ目のノ <sup>レ</sup> ブ <sup>レ</sup> リウス幼生
24			フジ <sup>レ</sup> ツボ <sup>レ</sup>	—	nauplius of CIRRIPIEDIA	フジ <sup>レ</sup> ツボ <sup>レ</sup> 亜目のノ <sup>レ</sup> ブ <sup>レ</sup> リウス幼生
25	触手動物	ホウキムシ	—	—	actinotrocha of PHORONIDEA	ホウキムシ綱のアクチノトロカ幼生
26	毛顎動物	ヤムシ	ヤムシ	サシ <sup>レ</sup> ツタ	<i>Sagitta</i> sp.	ヤムシ属
27	原索動物	オタマホ <sup>レ</sup> ヤ	オタマホ <sup>レ</sup> ヤ	オイコフ <sup>レ</sup> レウ <sup>レ</sup> ラ	<i>Oikopleura dioica</i>	ワカレオタマホ <sup>レ</sup> ヤ
28					<i>Oikopleura</i> sp.	オイコフ <sup>レ</sup> レウ <sup>レ</sup> ラ属

表4-3-2-3 動物プランクトン調査結果(個体数) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

番号	学名	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	合計
1	<i>Tintinnopsis radix</i>			56	26		82
2	<i>Tintinnopsis</i> sp.		13				13
3	<i>Favella taraikaensis</i>		475	1,348	2,385	1,926	6,134
4	<i>Synchaeta</i> sp.		600	2,697	769	1,047	5,113
5	veliger of GASTROPODA		50	112	128	101	391
6	umbo Larva of BIVALVIA		100	281	282	270	933
7	nectochaeta of POLYCHAETA		13		26	68	107
8	<i>Evadne nordmanni</i>			56	51		107
9	<i>Podon polyphemoides</i>		100	169	205	236	710
10	<i>Paracalanus parvus</i>		50	169	51	203	473
11	<i>Paracalanus</i> sp.		538	1,067	1,026	1,453	4,084
12	<i>Centropages abdominalis</i>			56		68	124
13	<i>Centropages</i> sp.		113	393	179	236	921
14	<i>Acartia omorii</i>		25	169	51	101	346
15	<i>Acartia</i> sp.		325	1,742	359	878	3,304
16	<i>Eurytemora</i> sp.					34	34
17	<i>Oithona davisae</i>			112			112
18	<i>Oithona similis</i>					34	34
19	<i>Oithona</i> sp.		63	56	26	135	280
20	<i>Corycaeus</i> sp.		488	618	462	1,014	2,582
21	<i>Microsetella norvegica</i>			56			56
22	HARPACTICOIDA			112		34	146
23	nauplius of COPEPODA		1,475	3,820	2,308	5,068	12,671
24	nauplius of CIRRIPEIDIA		25	112			137
25	actinotrocha of PHORONIDEA		13	56			69
26	<i>Sagitta</i> sp.		38	112	26	68	244
27	<i>Oikopleura dioica</i>		25	1,011	231	1,824	3,091
28	<i>Oikopleura</i> sp.		875	730	1,487	1,182	4,274
	種類数		20	24	19	21	28
	合計		5,404	15,110	10,078	15,980	46,572
参考	<i>Noctiluca scintillans</i>		1,525	3,483	2,962	2,500	10,470

注：個体数は1m<sup>3</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計は4m<sup>3</sup>あたりで示す。

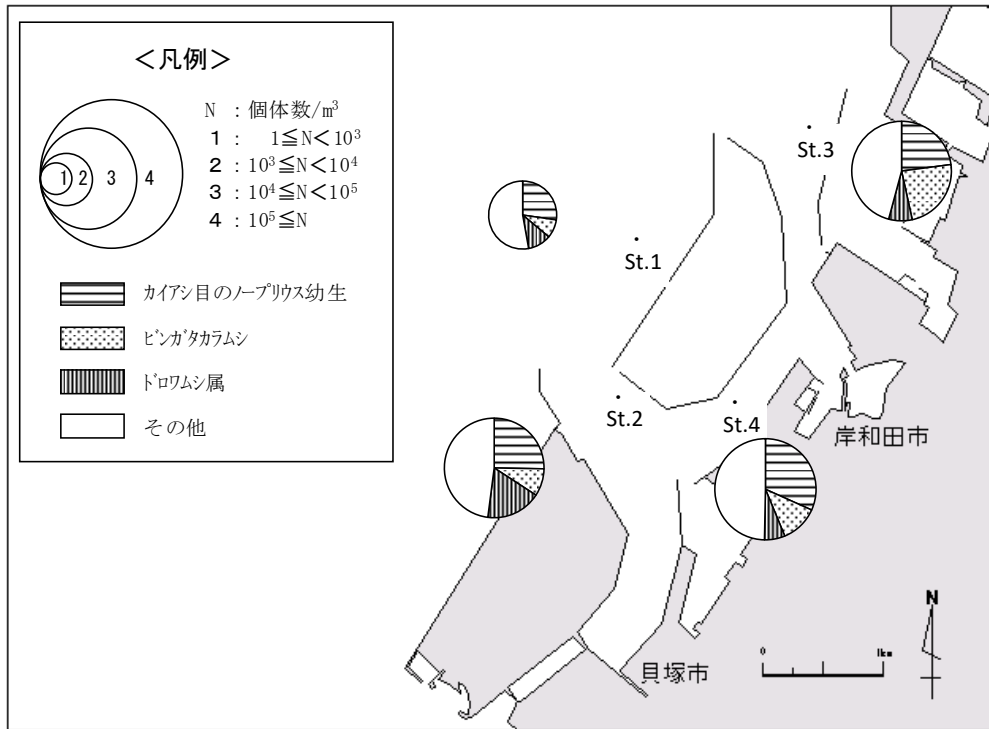


図4-3-2 動物プランクトンの水平分布 [令和3年度冬季分]

表4-3-3-1 底生生物調査結果概要 [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月15日

項目 \ 調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	平均 ( 最小 ~ 最大 )	
種類数	軟体動物門	5	1	9	2	11 ( 1 ~ 9 )
	環形動物門	15	4	16	4	23 ( 4 ~ 16 )
	節足動物門	2		2		4 ( 0 ~ 2 )
	その他			3	1	4 ( 0 ~ 3 )
	合計	22	5	30	7	42 ( 5 ~ 30 )
個体数	軟体動物門	21	1	83	6	28 ( 1 ~ 83 )
	環形動物門	148	4	397	9	140 ( 4 ~ 397 )
	節足動物門	2		5		2 ( 0 ~ 5 )
	その他			21	1	6 ( 0 ~ 21 )
	合計	171	5	506	16	175 ( 5 ~ 506 )
組成体比数 (%)	軟体動物門	12.3	20.0	16.4	37.5	15.9 ( 12.3 ~ 37.5 )
	環形動物門	86.5	80.0	78.5	56.3	79.9 ( 56.3 ~ 86.5 )
	節足動物門	1.2		1.0		1.0 ( 0.0 ~ 1.2 )
	その他			4.2	6.3	3.2 ( 0.0 ~ 6.3 )
湿重量 (g)	軟体動物門	0.66	0.01	2.80	0.27	0.94 ( 0.01 ~ 2.80 )
	環形動物門	3.14	0.75	3.40	0.47	1.94 ( 0.47 ~ 3.40 )
	節足動物門	4.05		0.18		1.06 ( 0.00 ~ 4.05 )
	その他			0.46	0.03	0.12 ( 0.00 ~ 0.46 )
	合計	7.85	0.76	6.84	0.77	4.06 ( 0.76 ~ 7.85 )
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	ハ <sup>ラ</sup> ラ <sup>ブ</sup> リ <sup>オ</sup> ノ <sup>ス</sup> ビ <sup>オ</sup> 属 (A型)	68 (39.8)	カノコセワタ ネトネアンテス ラチホ <sup>ー</sup> タ <sup>ク</sup>	シュート <sup>ホ</sup> リ <sup>ト</sup> ラ属 146 (28.9)	シズ <sup>ク</sup> カ <sup>イ</sup> 5 (31.3)	ハ <sup>ラ</sup> ラ <sup>ブ</sup> リ <sup>オ</sup> ノ <sup>ス</sup> ビ <sup>オ</sup> 属 (A型) 47 (26.6)
	グ <sup>リ</sup> ケン <sup>テ</sup> 属	23 (13.5)	カタマカ <sup>リ</sup> キ <sup>ホ</sup> シ <sup>ソ</sup> メ	ハ <sup>ラ</sup> ラ <sup>ブ</sup> リ <sup>オ</sup> ノ <sup>ス</sup> ビ <sup>オ</sup> 属 (A型) 113 (22.3)	ハ <sup>ラ</sup> ラ <sup>ブ</sup> リ <sup>オ</sup> ノ <sup>ス</sup> ビ <sup>オ</sup> 属 (A型) 5 (31.3)	シュート <sup>ホ</sup> リ <sup>ト</sup> ラ属 37 (21.2)
	エウコネ属	18 (10.5)	シュート <sup>ホ</sup> リ <sup>ト</sup> ラ属 キヤビ <sup>テ</sup> ラ属 1 (20.0)		アシナカ <sup>ゴ</sup> カ <sup>イ</sup> 2 (12.5)	

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 3. 個体数及び湿重量(g)は0.1m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。

表 4-3-3-2 底生生物出現種一覧 [令和3年度冬季分]

調査期日：令和4年2月15日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	
1	刺胞動物	花虫	イツキンチャク	-	ACTINIARIA	イツキンチャク目	
2	軟体動物	マキカイ	ニナ	カリハカサ	<i>Crepidula onyx</i>	シマノウフネカイ	
3			フトウカイ	キセワタ	<i>Yokoyamaia ornatissima</i>	ヨコヤマキセワタ	
4				カノキセワタ	<i>Philinopsis gigliolii</i>	カノキセワタ	
5		ニマイカイ	イカイ	イカイ	<i>Musculus cupreus</i>	タマエカイ	
6					<i>Musculus senhousia</i>	ホトキス	
7			ハマクリ	ハカカイ	<i>Raetellops pulchella</i>	チヨノハナカイ	
8				ニッコウカイ	<i>Macoma tokyoensis</i>	コイサキカイ	
9				アサシカイ	<i>Theora fragilis</i>	シズクカイ	
10				マルスタレカイ	<i>Veremolpa micra</i>	ヒメカノアサリ	
11				イワホリカイ	<i>Petricola</i> sp.	ウスカラスオツカイ	
12				ウミタケカイイモトキ	オキナカイ	<i>Laternula</i> sp.	オキナカイ属
13				環形動物	コカイ	サシハコカイ	ノラリウロコムシ
14		サシハコカイ	<i>Phyllodoce</i> sp.				
15			<i>Eumida sanguinea</i>			マダラサシハ	
16		カキコカイ	<i>Sigambra</i> sp.				
17		オトヒメコカイ	<i>Ophiodromus pugettensis</i>			モクリオトヒメ	
18			<i>Gyptis</i> sp.				
19		コカイ	<i>Neanthes succinea</i>			アシナコカイ	
20			<i>Nectoneanthes latipoda</i>			ネクトネアソテス ラチホーガ	
21		シロカネコカイ	<i>Nephtys oligobranchia</i>			コノシロカネコカイ	
22		チロリ	<i>Glycera alba</i>			アルハチロリ	
23			<i>Glycera</i> sp.				
24		ニカイチロリ	<i>Glycinde</i> sp.			グリキンテ属	
25		イソメ	キホシイソメ			<i>Scoletoma longifolia</i>	カタマカリキホシイソメ
26		スビオ				<i>Polydora</i> sp.	
27						<i>Pseudopolydora</i> sp.	シュートホリトラ属
28						<i>Prionospio membranacea</i>	エリタテスビオ
29						<i>Prionospio pulchra</i>	イトエラスビオ
30						<i>Prionospio krusadensis</i>	ミツハネスビオ
31						<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)	
32						ミスヒキコカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>
33		イトコカイ	イトコカイ			<i>Capitella</i> sp.	キャビテラ属
34		ケヤリ	ケヤリ			<i>Euchone</i> sp.	エウコネ属
35						<i>Chone</i> sp.	
36	節足動物	甲殻	ヨコエヒ	トロクタムシ	<i>Monocorophium acherusicum</i>	アリアケトロクタムシ	
37			エヒ	ヤトカリ	<i>Diogenes edwardsii</i>	トケツノキトカリ	
38				コフシカニ	<i>Myra fugax</i>	テナコフシ	
39				イチョウカニ	<i>Cancer gibbosulus</i>	イホイチョウカニ	
40	触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.			
41		腕足	シャミセンカイ	<i>Lingula</i> sp.	シャミセンカイ属		
42	棘皮動物	クモヒトテ	クモヒトテ	<i>Ophiura kinbergi</i>	クミノクモヒトテ		

表 4-3-3-3 底生生物調査結果(個体数) [令和3年度冬季分]

調査期日：令和 4年 2月15日

番号	学名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
1	ACTINIARIA				6		6
2	<i>Crepidula onyx</i>		9		3		12
3	<i>Yokoyamaia ornatissima</i>		1				1
4	<i>Philinopsis gigliolii</i>			1			1
5	<i>Musculus cupreus</i>				1		1
6	<i>Musculus senhousia</i>				40		40
7	<i>Raetellops pulchella</i>		5		3	1	9
8	<i>Macoma tokyoensis</i>				1		1
9	<i>Theora fragilis</i>		3		5	5	13
10	<i>Veremolpa micra</i>		3		27		30
11	<i>Petricola</i> sp.				2		2
12	<i>Laternula</i> sp.				1		1
13	<i>Sthenelais mitsuii</i>		2				2
14	<i>Phyllodoce</i> sp.				1		1
15	<i>Eumida sanguinea</i>				3		3
16	<i>Sigambra</i> sp.		3		6		9
17	<i>Ophiodromus pugettensis</i>		2		4		6
18	<i>Gyptis</i> sp.		1				1
19	<i>Neanthes succinea</i>				7	2	9
20	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		4	1	4	1	10
21	<i>Nephtys oligobranchia</i>		12		1		13
22	<i>Glycera alba</i>		2				2
23	<i>Glycera</i> sp.				2		2
24	<i>Glycinde</i> sp.		23		4		27
25	<i>Scoletoma longifolia</i>		9	1	43		53
26	<i>Polydora</i> sp.				44		44
27	<i>Pseudopolydora</i> sp.		1	1	146		148
28	<i>Prionospio membranacea</i>		1				1
29	<i>Prionospio pulchra</i>				4	1	5
30	<i>Prionospio krusadensis</i>		1				1
31	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		68		113	5	186
32	<i>Cirriformia tentaculata</i>				4		4
33	<i>Capitella</i> sp.			1			1
34	<i>Euchone</i> sp.		18				18
35	<i>Chone</i> sp.		1		11		12
36	<i>Monocorophium acherusicum</i>				2		2
37	<i>Diogenes edwardsii</i>		1				1
38	<i>Myra fugax</i>		1				1
39	<i>Cancer gibbosulus</i>				3		3
40	<i>Phoronis</i> sp.				13		13
41	<i>Lingula</i> sp.				2		2
42	<i>Ophiura kinbergi</i>					1	1
	種類数		22	5	30	7	42
	合計		171	5	506	16	698

注：個体数の数値は0.1m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.4m<sup>2</sup>あたりで示す。

表 4-3-3-4 底生生物調査結果(湿重量) [令和3年度冬季分]

調査期日：令和4年2月15日

番号	学名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
1	ACTINIARIA				0.14		0.14
2	<i>Crepidula onyx</i>		0.53		+		0.53
3	<i>Yokoyamaia ornatissima</i>		+				+
4	<i>Philinopsis gigliolii</i>			0.01			0.01
5	<i>Musculus cupreus</i>				0.01		0.01
6	<i>Musculus senhousia</i>				1.36		1.36
7	<i>Raetellops pulchella</i>		0.03		0.03	0.02	0.08
8	<i>Macoma tokyoensis</i>				+		+
9	<i>Theora fragilis</i>		0.02		0.03	0.25	0.30
10	<i>Veremolpa micra</i>		0.08		1.09		1.17
11	<i>Petricola</i> sp.				0.13		0.13
12	<i>Laternula</i> sp.				0.15		0.15
13	<i>Sthenelais mitsuii</i>		0.04				0.04
14	<i>Phyllodoce</i> sp.				+		+
15	<i>Eumida sanguinea</i>				0.01		0.01
16	<i>Sigambra</i> sp.		0.01		0.02		0.03
17	<i>Ophiodromus pugettensis</i>		+		0.01		0.01
18	<i>Gyptis</i> sp.		+				+
19	<i>Neanthes succinea</i>				0.25	0.09	0.34
20	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		0.58	0.74	0.11	0.34	1.77
21	<i>Nephtys oligobranchia</i>		0.06		+		0.06
22	<i>Glycera alba</i>		0.01				0.01
23	<i>Glycera</i> sp.				0.01		0.01
24	<i>Glycinde</i> sp.		0.15		0.03		0.18
25	<i>Scoletoma longifolia</i>		0.09	+	0.28		0.37
26	<i>Polydora</i> sp.				0.30		0.30
27	<i>Pseudopolydora</i> sp.		+	0.01	0.28		0.29
28	<i>Prionospio membranacea</i>		+				+
29	<i>Prionospio pulchra</i>				+	+	+
30	<i>Prionospio krusadensis</i>		+				+
31	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		2.13		1.96	0.04	4.13
32	<i>Cirriformia tentaculata</i>				0.06		0.06
33	<i>Capitella</i> sp.			+			+
34	<i>Euchone</i> sp.		0.06				0.06
35	<i>Chone</i> sp.		0.01		0.08		0.09
36	<i>Monocorophium acherusicum</i>				+		+
37	<i>Diogenes edwardsii</i>		0.60				0.60
38	<i>Myra fugax</i>		3.45				3.45
39	<i>Cancer gibbosulus</i>				0.18		0.18
40	<i>Phoronis</i> sp.				0.08		0.08
41	<i>Lingula</i> sp.				0.24		0.24
42	<i>Ophiura kinbergi</i>					0.03	0.03
	種類数		22	5	30	7	42
	合計		7.85	0.76	6.84	0.77	16.22

注：1. 「+」は0.01g未満を示す。

2. 湿重量(g)は0.1m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.4m<sup>2</sup>あたりで示す。

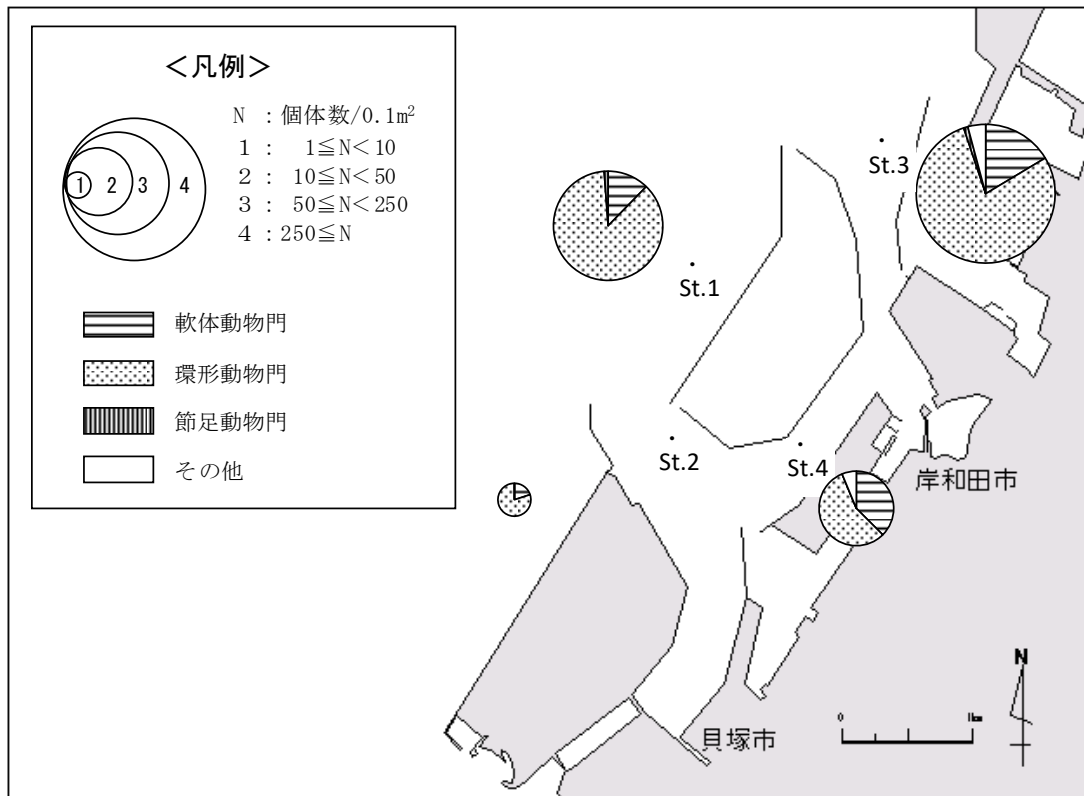


図 4 - 3 - 3 底生生物の水平分布 [令和 3 年度冬季分]



表 4-3-4-1 魚卵調査結果概要 [令和3年度冬季分]

調査年月日:令和 4年 2月15日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	0	0	0	0	0 ( 0 ~ 0 )
個数	0	0	0	0	0 ( 0 ~ 0 )
主要種 個数 (カッコ内は組成比:%)					

- 注: 1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 3. 個数は1,000m<sup>3</sup>あたりの数値で示す。

表 4-3-4-2 魚卵出現種一覧 [令和3年度冬季分]

調査年月日:令和 4年 2月15日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
(該当種なし)						

表 4-3-4-3 魚卵調査結果 (個数) [令和3年度冬季分]

調査年月日:令和 4年 2月15日

番号	学名	和名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
(該当種なし)								0
種類数				0	0	0	0	0
合計				0	0	0	0	0

注: 個数は1,000m<sup>3</sup>あたりの数値で示す。ただし調査点合計の欄は4,000m<sup>3</sup>あたりで示す。

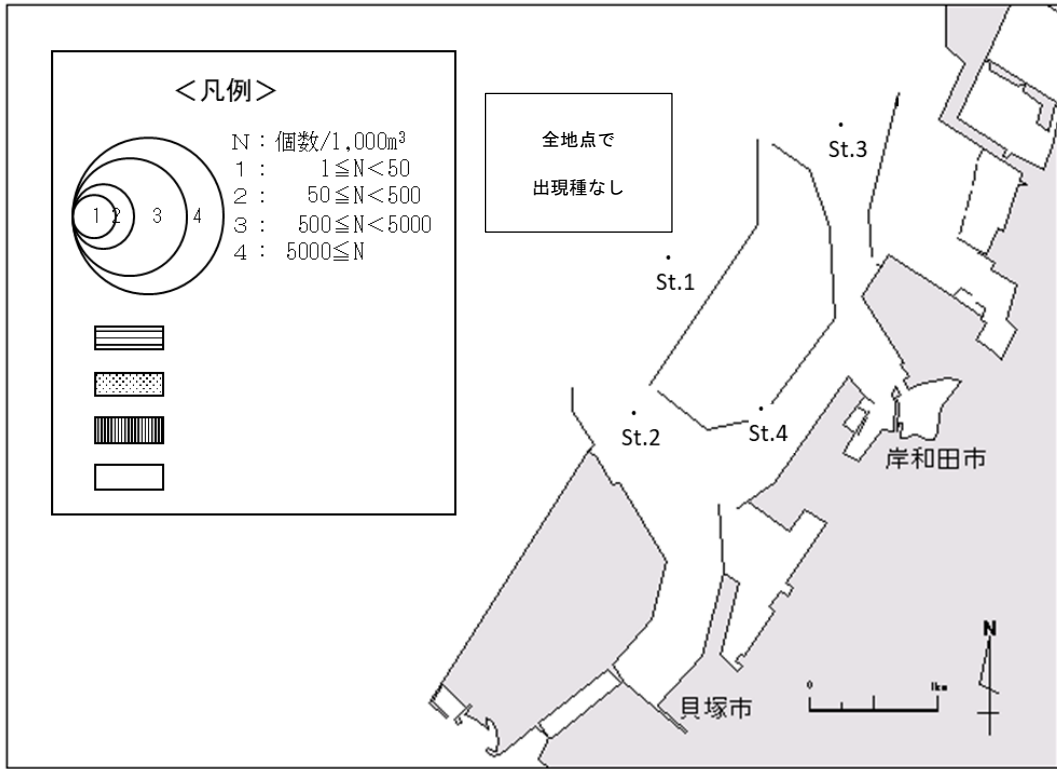


図4-3-4-1 魚卵の水平分布 [令和3年度冬季分]

表 4-3-4-4 稚仔魚調査結果概要 [令和3年度冬季分]

調査年月日:令和 4年 2月15日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	2	2	3	2	3 ( 2 ~ 3 )
個体数	24	64	654	109	213 ( 24 ~ 654 )
主要種 個体数 (カッコ内は組成比:%)	カサコ <sup>°</sup> 22 (91.7)	カサコ <sup>°</sup> 54 (84.4) ハゼ <sup>°</sup> 科 10 (15.6)	カサコ <sup>°</sup> 650 (99.4)	カサコ <sup>°</sup> 107 (98.2)	カサコ <sup>°</sup> 208 (97.9)

- 注: 1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 3. 個体数は1,000m<sup>3</sup>あたりの数値で示す。

表4-3-4-5 稚仔魚出現種一覧 [令和3年度冬季分]

調査年月日:令和4年2月15日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	Gobiidae	ハゼ科
2			カサコ	フサカサコ	<i>Sebastes inermis</i> complex	メバル複合種群
3					<i>Sebastes marmoratus</i>	カサコ

注: メバル複合種群にはアカメバル、クロメバル、シロメバルの3種が含まれる。

表4-3-4-6 稚仔魚調査結果(個体数) [令和3年度冬季分]

調査年月日:令和4年2月15日

番号	学名	和名	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	合計
1	Gobiidae	ハゼ科			10	2	2	14
2	<i>Sebastes inermis</i> complex	メバル複合種群		2		2		4
3	<i>Sebastes marmoratus</i>	カサコ		22	54	650	107	833
種類数				2	2	3	2	3
合計				24	64	654	109	851

注1: 個体数は1,000m<sup>3</sup>あたりの数値で示す。ただし調査点合計の欄は4,000m<sup>3</sup>あたりで示す。

注2: メバル複合種群にはアカメバル、クロメバル、シロメバルの3種が含まれる。

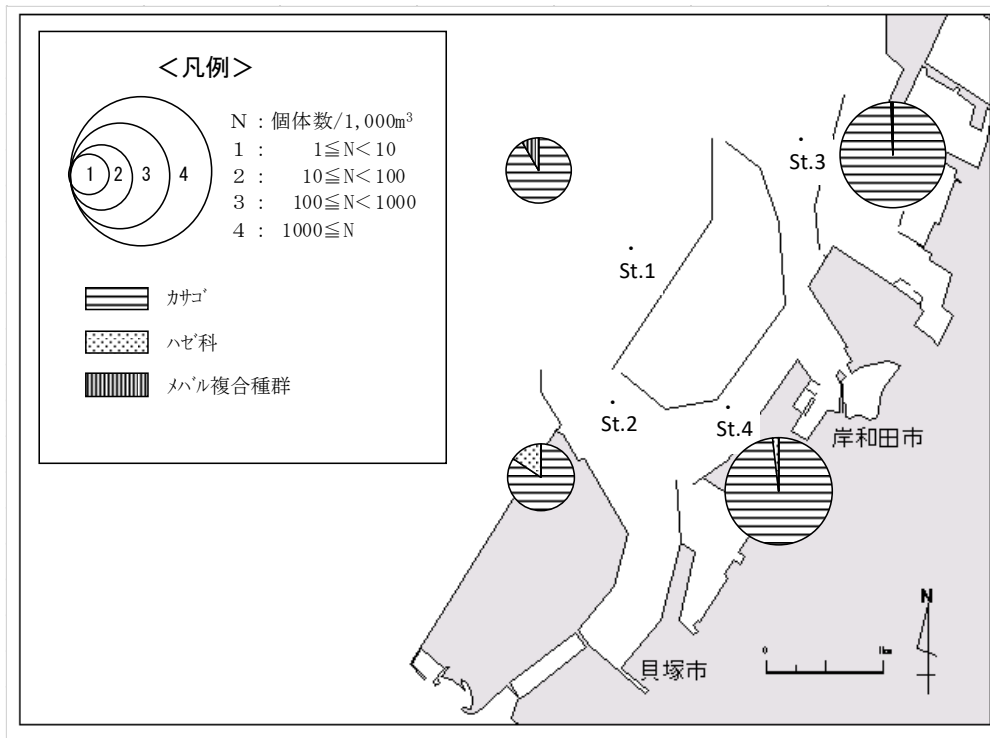


図4-3-4-2 稚仔魚の水平分布 [令和3年度冬季分]

表 4-3-5-1 (1) 付着生物出現種一覧(目視観察)

調査日: 令和 4年 2月 8日

S t . A

調査時刻: 9:20~10:35

調査方法: ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
基質		コンクリートケーソン																		
出現種 \ 水深 (m)		+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0									
植	1 アマリ属		5	5																
	2 アオサ属		+																	
	3 シオクサ属		+	+	+															
	4 セイウハベノリ			5	+															
	5 ショウジョウケリ			+		+														
	6 偽ノス科			5	+	+	+													
	7 ススカハニ														+					
	8 タオキソウ														+					
動	1 アラレタマキビガイ	(156)																		
	2 イワブツボ	20	5																	
	3 タマキビガイ		(5)																	
	4 カラマガイ		(2)																	
	5 イホコシ		(2)																	
	6 マカキ		+																	
	7 ユキカサガイ科		(9)																	
	8 マツバガイ		(1)																	
	9 タテマインギンチャク		(4)	(1)	(1)															
	10 カサシロカイ科		+	15	10	5	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	r	
	11 イソギンチャク目			(1)															(2)	
	12 普通海綿綱			15	5															
	13 ホソコケムシ				5	5														
	14 フサコケムシ				5	40	40	60	60	40	20	+								
	15 群本性ホヤ類				+	10	5	5	5	5	5	5	+	5	5	5	5	+	10	5
	16 シロホヤ				(1)			(1)		(3)		(2)	(2)	(7)		(2)				
	17 単体性ホヤ類				(1)	(2)	(2)	(2)	(5)	(5)	(7)				(3)		(19)	(4)	(4)	
	18 シンカクアソツボ						+													
	19 ヒメホウキムシ						+		+		+	5	+	5		+	r	r	r	
	20 エホヤ								(2)	(6)	(2)	(4)	(2)	(4)		(2)				
	21 コケムシ綱								+	+		+	+	5	5	5	5	30	5	
	22 クロコケウミシ									(3)										
	23 レイシガイ									(1)										
	24 イトマキヒトデ									(1)										
	25 ヒトロムシ綱											+					+	+	+	
	26 クロマイホヤ											5	+	5		5	+			
	27 アミコケムシ科														+	+	+	+	10	5
	28 多岐腸目															(2)				
	29 ミズヒキコケムシ科															+				

注)1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ( )内の数字は個体数を表す。

表4-3-5-1(2) 付着生物出現種一覧(目視観察)

調査日: 令和4年2月8日

S.t.B

調査時刻: 10:45~12:20

調査方法: ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
基質		被覆石																	
出現種	水深 (m)	+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0									
植	1 アマリ属			15															
	2 フクロノリ			+															
	3 ホトアサ科			5															
	4 セイヨウハバノリ				+														
	5 秋ワリ				15														
	6 フシクキ				+														
	7 アサ科				+	5	+			+									
	8 ムカデノリ				5	20	5	5	+										
	9 シオクシ属					+													
	10 ミル					+													
	11 ショウジヨウケノリ					+		+											
	12 タマハキモク					5	+	+											
	13 フクロノリ					+	5	5	+	5									
	14 カハノリ					+	+	+	+	+		+	5		+	r	10	5	
	15 珪藻綱							25	+	5									
	16 マダサ							+											
	17 ガジ属								+	15	50	20	50	40	20				
	18 リカメ									5		25							
	19 シキンノリ										+	10	10	10	5	r	r		
	20 アミシクサ科											+							
	21 イキス科													+	15	20	r		
動物	1 カメノテ		+																
	2 イシタマカイ		(2)																
	3 クヂマイキノシヤク				(1)														
	4 キクノハカイ				(1)														
	5 オオヒカイ				(3)			(1)											
	6 カンザシコカイ科				20	15	5	5	5	+	5	+	+						
	7 イホニシ					(2)													
	8 ホヤトカリ属					(2)					(2)	(1)							
	9 コシタカガシラ					(3)	(1)	(1)	(2)	(2)	(1)	(2)							
	10 イトマキヒトデ					(1)		(1)								(1)			
	11 群体性ホヤ類										+			+	+	+			
	12 単体性ホヤ類										(1)				(1)				
	13 シロホヤ													(2)			(1)	(1)	
	14 コケムシ綱															+			
	15 ヒトロムシ綱															+		+	
	16 コウレホヤ属															(1)	(2)	(8)	
	17 アサコケムシ																+		
	18 レンカイ																(1)		
	19 泥巢																		10

注)1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ( )内の数字は個体数を表す。



表 4-3-5-2 付着生物(植物)藻長測定結果

調査日：令和 4年 2月 8日

出現種\地点	S t . A	S t . B
ホヅアオサ	---	10mm~20mm
アサ属	15mm	50mm~70mm
シオクサ属	10mm~20mm	10mm
ミル	---	40mm
アミシグサ科	---	100mm
フクロリ	---	50mm~80mm
セイヨウハハノリ	40mm~50mm	40mm
ワカメ	---	250mm~400mm
タマハキモク	---	100mm~150mm
アマリ属	10mm~20mm	10mm~20mm
マクサ	---	50mm~70mm
フクロフリ	---	10mm~20mm
スサケハニ	15mm	---
シキシリ	---	30mm~60mm
ムカデノリ	---	50mm~100mm
オキツリ	---	30mm~40mm
カハノリ	---	30mm~60mm
フツナギ	---	30mm~40mm
タヤキソウ	30mm	---
イグス科	20mm~30mm	30mm~40mm
ダシア属	---	50mm~80mm
シヨジヨウケリ	50mm~70mm	100mm
珪藻綱	---	10mm

調査年月日：令和 4年 2月 8日

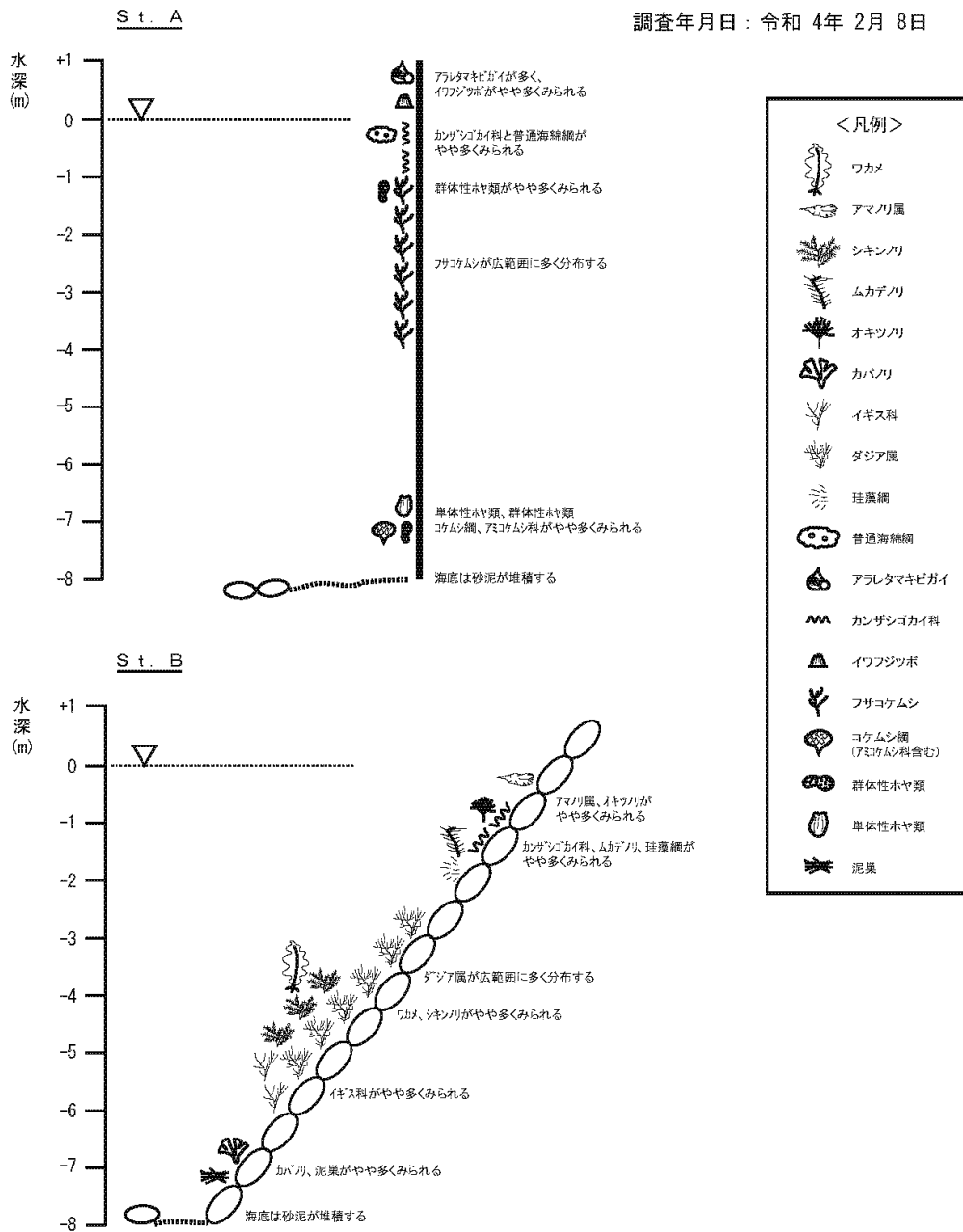


図 4 - 3 - 5 - 1 調査測点断面模式

水深(m)

【St.A】

調査日:令和 4年 2月 8日

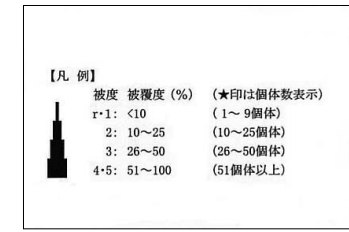
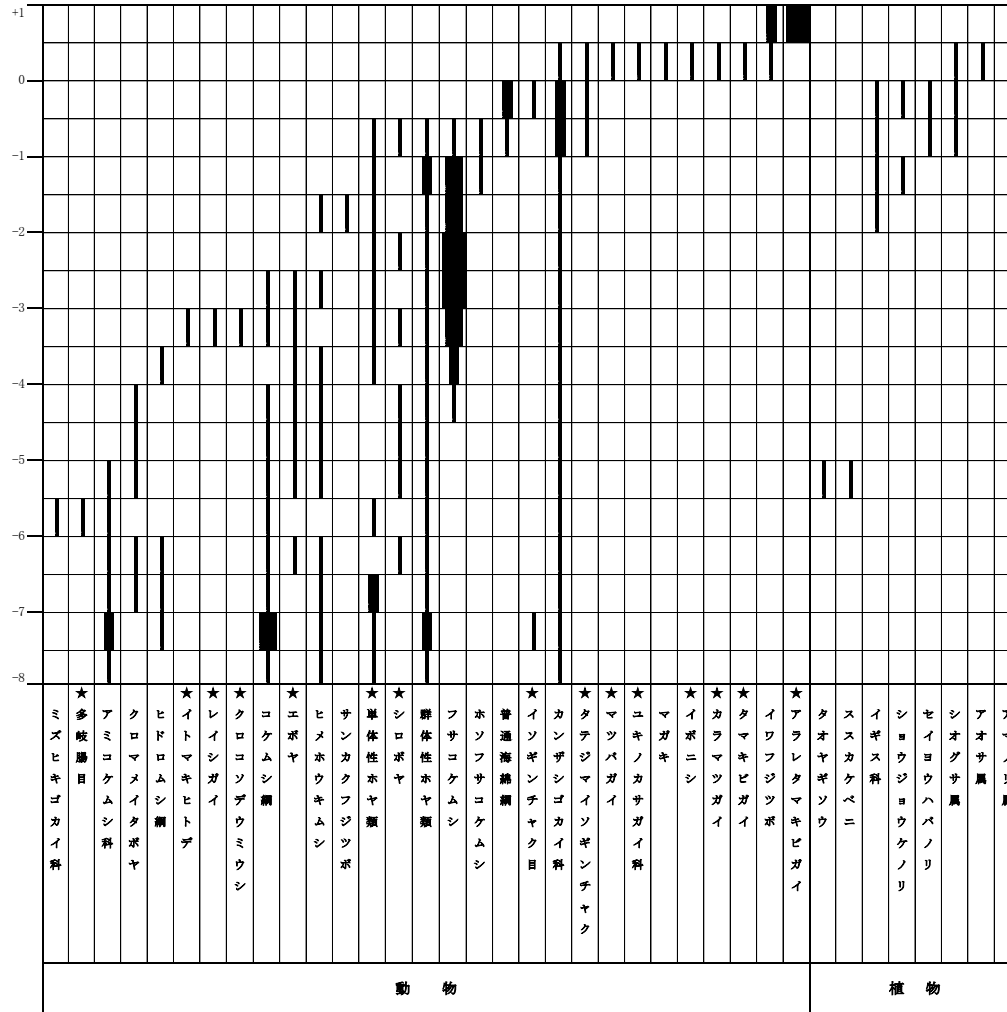


図 4-3-5-2 (1) 主な付着生物の鉛直分布

水深(m)

【St.B】

調査日:令和4年2月8日

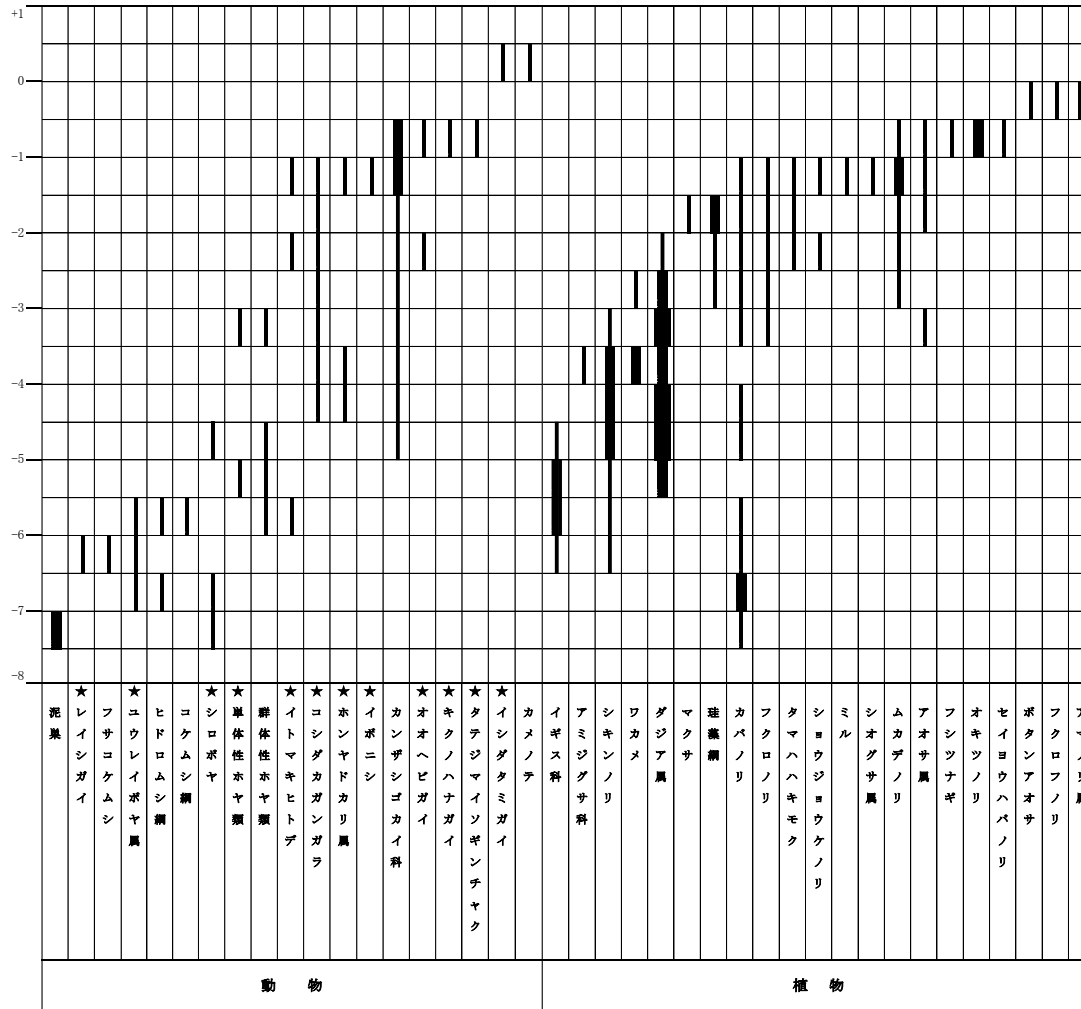


図4-3-5-2(2) 主な付着生物の鉛直分布

表4-3-5-3 付着生物調査結果概要(坪刈り：植物) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

項目	調査点 層	St. A			St. B			平均 ( 最小 ~ 最大 )	
		上層	中層	下層	上層	中層	下層		
種類数	緑藻植物門	4	4		3	4	5	7 ( 0 ~ 5 )	
	褐藻植物門	3				2	3	6 ( 0 ~ 3 )	
	紅藻植物門	1	1	1	2	5	8	11 ( 1 ~ 8 )	
	その他		1			1	1	1 ( 0 ~ 1 )	
	合計	8	6	1	5	12	17	25 ( 1 ~ 17 )	
湿重量 (g)	緑藻植物門	0.08	0.17		4.03	3.33	0.43	1.34 ( 0.00 ~ 4.03 )	
	褐藻植物門	0.03				3.22	21.62	4.15 ( 0.00 ~ 21.62 )	
	紅藻植物門	3.11	0.23	0.54	6.47	18.10	11.72	6.70 ( 0.23 ~ 18.10 )	
	その他		+			+	0.02	0.00 ( 0.00 ~ 0.02 )	
	合計	3.22	0.40	0.54	10.50	24.65	33.79	12.19 ( 0.40 ~ 33.79 )	
組成重量 (%)	緑藻植物門	2.5	42.5		38.4	13.5	1.3	11.0 ( 0.0 ~ 42.5 )	
	褐藻植物門	0.9				13.1	64.0	34.0 ( 0.0 ~ 64.0 )	
	紅藻植物門	96.6	57.5	100.0	61.6	73.4	34.7	55.0 ( 34.7 ~ 100.0 )	
	その他		+			+	0.1	0.0 ( 0.0 ~ 0.1 )	
主要種 湿重量 (カッコ内は組成比：%)	アマリ属	3.11(96.6)	イギス属	0.23(57.5)	アマリ属	ムカデノリ	タマハキモク	ムカデノリ	2.40(19.7)
			ミル	0.10(25.0)	ウスハアオリ	マクサ	サナダグサ	タマハキモク	1.72(14.1)
			シオグサ属	0.06(15.0)		アオサ属	シヨウシヨウケノリ	アマリ属	1.58(13.0)
						フクロノリ	フクロノリ	サナダグサ	1.38(11.3)
						シヨウシヨウケノリ	ムカデノリ	シヨウシヨウケノリ	1.36(11.2)
						1.62(6.6)	2.23(6.6)		
						6.39(60.9)	12.14(49.2)	10.10(29.9)	
						4.01(38.2)	3.77(15.3)	8.26(24.4)	
							3.13(12.7)	6.54(19.4)	
							3.03(12.3)	3.26(9.6)	

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。  
 2. 種類数の平均欄の数値は総種類数を示す。  
 3. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。ただし、0.01g/0.09m<sup>2</sup>未満の場合は除く。  
 4. 湿重量は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。湿重量が0.01g/0.09m<sup>2</sup>未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は「+」で示す。

表 4-3-5-4 付着生物出現種一覧(坪刈り：植物) [令和3年度冬季分]

							調査年月日：令和4年2月8日			
番号	門	綱	目	科	学名	和名				
1	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Enteromorpha linza</i>	ウスバアオサ				
2					<i>Enteromorpha</i> sp.	アオサ属				
3					<i>Ulva</i> sp.	アオサ属				
4			シオクサ		シオクサ	<i>Chaetomorpha</i> sp.	シユズモ属			
5						<i>Cladophora</i> sp.	シオクサ属			
6			ハネモ	ハネモ	ハネモ	ミル	<i>Codium fragile</i>	ミル		
7						<i>Bryopsis</i> sp.	ハネモ属			
8	褐藻植物	褐藻				シオミドロ	シオミドロ	Ectocarpaceae	シオミドロ科	
9								アミシクサ	<i>Pachydictyon coriaceum</i>	サナダクサ
10								カヤモリ	<i>Colpomenia sinuosa</i>	フクロリ
11				<i>Petalonia fascia</i>	セイヨクハハノリ					
12				<i>Scytosiphon lomentaria</i>	カヤモリ					
13				<i>Sargassum muticum</i>	タマハネモ					
14			紅藻植物	紅藻	ウシケリ			ウシケリ	<i>Porphyra</i> sp.	アマリ属
15	ウシケリ	<i>Amphiroa zonata</i>				ウスカリカニテ				
16	テングサ	<i>Gelidium elegans</i>				マクサ				
17	スキノリ	<i>Gloiopeltis furcata</i>				フクロリ				
18		<i>Grateloupia filicina</i>				ムカデノリ				
19		<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>				ホヅリ				
20	イキス	イキス				イキス	<i>Antithamnion densum</i>		キヌイトフツカサネ	
21							<i>Ceramium</i> sp.		イキス属	
22							<i>Griffithsia</i> sp.		カサシクサ属	
23							タシミア		<i>Dasya</i> sp.	タシミア属
24						アジマツモ	<i>Polysiphonia senticulosa</i>		ショウシヨウケリ	
25	黄色植物	珪藻	羽状	テイトマ	<i>Licmophora</i> sp.	リクモホウ属				

表 4-3-5-5 付着生物調査結果(坪刈り：植物：湿重量) [令和3年度冬季分]

									調査年月日：令和4年2月8日
番号	学名	調査点層	St. A			St. B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	<i>Enteromorpha linza</i>					4.01			4.01
2	<i>Enteromorpha</i> sp.		0.01	+		0.02	0.02	0.08	0.13
3	<i>Ulva</i> sp.		+				3.13	0.02	3.15
4	<i>Chaetomorpha</i> sp.							0.02	0.02
5	<i>Cladophora</i> sp.		0.03	0.06		+	0.14	0.24	0.47
6	<i>Codium fragile</i>		0.04	0.10			0.04	0.07	0.25
7	<i>Bryopsis</i> sp.			0.01					0.01
8	Ectocarpaceae		+						+
9	<i>Pachydictyon coriaceum</i>							8.26	8.26
10	<i>Colpomenia sinuosa</i>						3.03	3.26	6.29
11	<i>Petalonia fascia</i>		0.02						0.02
12	<i>Scytosiphon lomentaria</i>		0.01						0.01
13	<i>Sargassum muticum</i>						0.19	10.10	10.29
14	<i>Porphyra</i> sp.		3.11			6.39			9.50
15	<i>Amphiroa zonata</i>							0.03	0.03
16	<i>Gelidium elegans</i>						3.77		3.77
17	<i>Gloiopeltis furcata</i>					0.08			0.08
18	<i>Grateloupia filicina</i>						12.14	2.23	14.37
19	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>						0.56	0.15	0.71
20	<i>Antithamnion densum</i>							+	+
21	<i>Ceramium</i> sp.			0.23	0.54		0.01	0.56	1.34
22	<i>Griffithsia</i> sp.							+	+
23	<i>Dasya</i> sp.							2.21	2.21
24	<i>Polysiphonia senticulosa</i>						1.62	6.54	8.16
25	<i>Licmophora</i> sp.			+			+	0.02	0.02
	種類数		8	6	1	5	12	17	25
	合計		3.22	0.40	0.54	10.50	24.65	33.79	73.10

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。

2. 「+」は0.01g未満を示す。

3. 湿重量(g)の数値は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m<sup>2</sup>あたりで示す。

表4-3-5-6(1) 付着生物調査結果概要(坪刈り：動物：個体数) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

項目	調査点 層	St. A			St. B			平均 ( 最小 ~ 最大 )
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	15	6	4	2	9	16	33 ( 2 ~ 16 )
	環形動物門	8	12	12		14	12	23 ( 0 ~ 14 )
	節足動物門	13	11	11	11	9	11	25 ( 9 ~ 13 )
	その他	3	14	17		5	10	22 ( 0 ~ 17 )
	合計	39	43	44	13	37	49	103 ( 13 ~ 49 )
個体数	軟体動物門	108	26	19	3	49	396	100 ( 3 ~ 396 )
	環形動物門	151	2,425	2,065		1,109	2,687	1,406 ( 0 ~ 2,687 )
	節足動物門	298	408	531	46	464	761	418 ( 46 ~ 761 )
	その他	572	243	306		23	369	252 ( 0 ~ 572 )
	合計	1,129	3,102	2,921	49	1,645	4,213	2,177 ( 49 ~ 4,213 )
組成体比数 (%)	軟体動物門	9.6	0.8	0.7	6.1	3.0	9.4	4.6 ( 0.7 ~ 9.6 )
	環形動物門	13.4	78.2	70.7		67.4	63.8	64.6 ( 0.0 ~ 78.2 )
	節足動物門	26.4	13.2	18.2	93.9	28.2	18.1	19.2 ( 13.2 ~ 93.9 )
	その他	50.7	7.8	10.5		1.4	8.8	11.6 ( 0.0 ~ 50.7 )
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	タデシマイソキソウチャク 551(48.8)	トデカケリア属 1,751(56.4)	トデカケリア属 1,216(41.6)	ノルマンタナイス 16(32.7)	エゾカサネカンザシ 704(42.8)	エゾカサネカンザシ 2,215(52.6)	エゾカサネカンザシ 658(30.2)	
		エゾカサネカンザシ 481(15.5)	エゾカサネカンザシ 548(18.8)	ウミスズメシ科 9(18.4)	ノルマンタナイス 270(16.4)	ノルマンタナイス 664(15.8)	トデカケリア属 495(22.7)	
				シリケンウミセミ 6(12.2)	ミスヒキコカイ 250(15.2)			

- 注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。  
 2. 種類数の平均欄の数値は総種類数を示す。  
 3. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 4. 個体数は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。

表4-3-5-6(2) 附着生物調査結果概要(坪刈り：動物：湿重量) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

項目	調査点 層	St. A			St. B			平均 ( 最小 ~ 最大 )
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
湿重量 (g)	軟体動物門	27.20	4.46	1.84	3.26	9.20	40.06	14.34 ( 1.84 ~ 40.06 )
	環形動物門	1.81	13.98	6.62		14.43	39.30	12.69 ( 0.00 ~ 39.30 )
	節足動物門	1.16	13.08	59.83	0.24	3.37	1.31	13.17 ( 0.24 ~ 59.83 )
	その他	20.35	160.20	288.16		0.33	4.71	78.96 ( 0.00 ~ 288.16 )
	合計	50.52	191.72	356.45	3.50	27.33	85.38	119.15 ( 3.50 ~ 356.45 )
組成重量比 (%)	軟体動物門	53.8	2.3	0.5	93.1	33.7	46.9	12.0 ( 0.5 ~ 93.1 )
	環形動物門	3.6	7.3	1.9		52.8	46.0	10.7 ( 0.0 ~ 52.8 )
	節足動物門	2.3	6.8	16.8	6.9	12.3	1.5	11.0 ( 1.5 ~ 16.8 )
	その他	40.3	83.6	80.8		1.2	5.5	66.3 ( 0.0 ~ 83.6 )
主要種 湿重量 (カッコ内は組成比：%)	カタシマイトキソシキヤク	20.22 (40.0)	89.40 (46.6)	136.03 (38.2)	キノハナカイ	エゾカサネカンザシ	エゾカサネカンザシ	フサコケムシ科
	マカキ	15.04 (29.8)	23.12 (12.1)	83.13 (23.3)	ウナギ	ミスヒキコカイ	コシダカガシカラ	トケコケムシ科
			22.50 (11.7)	55.51 (15.6)		イボカカイ科	オオヘビカイ	ヒウラ科

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。  
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。  
 3. 湿重量は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。  
 4. 湿重量が0.01g/0.09m<sup>2</sup>未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は「+」で示す。



表4-3-5-7(1) 付着生物出現種一覧(坪刈り:動物) [令和3年度冬季分]

調査年月日:令和4年2月8日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	海綿動物	普通海綿	—	—	DEMOSPONGIAE	普通海綿綱
2	刺胞動物	花虫	イソキ <sup>ン</sup> チャク	タテ <sup>ン</sup> マイ <sup>ソ</sup> イ <sup>ン</sup> チャク	<i>Haliplanella lineata</i>	タテ <sup>ン</sup> マイ <sup>ソ</sup> イ <sup>ン</sup> チャク
3				—	ACTINIARIA	イソキ <sup>ン</sup> チャク目
4	扁形動物	カス <sup>ム</sup> シ	ヒラムシ	—	POLYCLADIDA	ヒラムシ目
5	紐形動物	—	—	—	NEMERTINEA	紐形動物門
6	軟体動物	ヒサ <sup>ラ</sup> カ <sup>イ</sup>	ヒサ <sup>ラ</sup> カ <sup>イ</sup>	カハ <sup>タ</sup> ヒサ <sup>ラ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>	ヒサ <sup>ラ</sup> カ <sup>イ</sup>
7				ヒサ <sup>ラ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Liolophura japonica</i>	ヒサ <sup>ラ</sup> カ <sup>イ</sup>
8		マキ <sup>カ</sup> イ	マキ <sup>カ</sup> イ	コキ <sup>ノ</sup> カサ <sup>カ</sup> イ	<i>Patelloida saccharina</i>	ウバ <sup>シ</sup>
9				—	<i>Patelloida pygmaea</i>	ヒメコサ <sup>ラ</sup> カ <sup>イ</sup>
10				—	<i>Collisella</i> sp.	
11				—シキ <sup>ウス</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Omphalius rusticus</i>	コシ <sup>タ</sup> カ <sup>ン</sup> カ <sup>ラ</sup>
12				—	<i>Cantharidus japonicus</i>	チ <sup>ク</sup> カ <sup>イ</sup>
13		コナ	タマキ <sup>ヒ</sup> カ <sup>イ</sup>	タマキ <sup>ヒ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Littorina brevicula</i>	タマキ <sup>ヒ</sup> カ <sup>イ</sup>
14			リツ <sup>ホ</sup>	リツ <sup>ホ</sup>	<i>Alvania concinna</i>	タマ <sup>ホ</sup>
15			—	—	<i>Diala varia</i>	スス <sup>ノ</sup> ハマ <sup>ツ</sup> ホ
16			ムカ <sup>テ</sup> カ <sup>イ</sup>	ムカ <sup>テ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Serpulorbis imbricatus</i>	オホ <sup>ヘ</sup> カ <sup>イ</sup>
17			カリ <sup>ハ</sup> カ <sup>サ</sup> カ <sup>イ</sup>	カリ <sup>ハ</sup> カ <sup>サ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Crepidula onyx</i>	シマ <sup>ノ</sup> ウ <sup>ラ</sup> ネ <sup>カ</sup> イ
18		ハ <sup>イ</sup>	ア <sup>ク</sup> キ <sup>カ</sup> イ	ア <sup>ク</sup> キ <sup>カ</sup> イ	<i>Thais bronni</i>	レイ <sup>シ</sup> カ <sup>イ</sup>
19			—	—	<i>Thais clavigera</i>	イ <sup>ホ</sup> ニ <sup>シ</sup>
20			カ <sup>モ</sup> ト <sup>カ</sup> イ	カ <sup>モ</sup> ト <sup>カ</sup> イ	<i>Mitrella bicincta</i>	ミ <sup>キ</sup> カ <sup>イ</sup>
21			イ <sup>ト</sup> カ <sup>カ</sup> イ	イ <sup>ト</sup> カ <sup>カ</sup> イ	<i>Alexania inazawai</i>	イ <sup>チ</sup> ウ <sup>ハ</sup> カ <sup>イ</sup>
22			チ <sup>チ</sup> キ <sup>レ</sup> カ <sup>イ</sup>	チ <sup>チ</sup> キ <sup>レ</sup> カ <sup>イ</sup>	Pyramidellidae	チ <sup>チ</sup> カ <sup>イ</sup> 科
23			ワ <sup>ト</sup> カ <sup>カ</sup> イ	ワ <sup>ト</sup> カ <sup>カ</sup> イ	<i>Haloa japonica</i>	ワ <sup>ト</sup> カ <sup>カ</sup> イ
24			ウ <sup>ミ</sup> カ <sup>シ</sup>	ウ <sup>ミ</sup> カ <sup>シ</sup>	NUDIBRANCHIA	ウ <sup>ミ</sup> カ <sup>シ</sup> 目
25			モノ <sup>ア</sup> ラ <sup>カ</sup> イ	モノ <sup>ア</sup> ラ <sup>カ</sup> イ	<i>Siphonaria japonica</i>	モノ <sup>ア</sup> ラ <sup>カ</sup> イ
26			—	—	<i>Siphonaria sirius</i>	モノ <sup>ア</sup> ラ <sup>カ</sup> イ
27			—	—	egg of GASTROPODA	マ <sup>キ</sup> カ <sup>イ</sup> 綱の卵
28		コナ <sup>イ</sup>	フネ <sup>カ</sup> イ	フネ <sup>カ</sup> イ	<i>Barbatia virescens</i>	フネ <sup>カ</sup> イ
29			イ <sup>カ</sup> イ	イ <sup>カ</sup> イ	<i>Limnoperla fortunei kikuchii</i>	コウ <sup>ロ</sup> エ <sup>シ</sup> カ <sup>リ</sup> ヒ <sup>バ</sup> リ <sup>カ</sup> イ
30			—	—	<i>Modiolus nipponicus</i>	ヒ <sup>バ</sup> リ <sup>カ</sup> イ
31			—	—	<i>Musculista senhousia</i>	ム <sup>ス</sup> ク <sup>リ</sup> カ <sup>イ</sup>
32			—	—	<i>Musculus cupreus</i>	ム <sup>ス</sup> ク <sup>リ</sup> カ <sup>イ</sup>
33			—	—	<i>Mytilus edulis</i>	ミ <sup>テ</sup> ル <sup>カ</sup> イ
34			ウ <sup>ケ</sup> イ <sup>ス</sup> カ <sup>イ</sup>	ウ <sup>ケ</sup> イ <sup>ス</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Crassostrea gigas</i>	マ <sup>カ</sup> キ
35		ハマ <sup>ク</sup> リ	キ <sup>カ</sup> キ <sup>カ</sup> イ	キ <sup>カ</sup> キ <sup>カ</sup> イ	<i>Chama</i> sp.	キ <sup>カ</sup> キ <sup>カ</sup> イ
36			チ <sup>リ</sup> ハ <sup>キ</sup> カ <sup>イ</sup>	チ <sup>リ</sup> ハ <sup>キ</sup> カ <sup>イ</sup>	Lasaeidae	チ <sup>リ</sup> ハ <sup>キ</sup> カ <sup>イ</sup> 科
37			イ <sup>ウ</sup> ホ <sup>リ</sup> カ <sup>イ</sup>	イ <sup>ウ</sup> ホ <sup>リ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Claudiconcha japonica</i>	セ <sup>ミ</sup> ア <sup>サ</sup> リ
38			—	—	Petricolidae	イ <sup>ウ</sup> ホ <sup>リ</sup> カ <sup>イ</sup> 科
39	環形動物	コ <sup>カ</sup> イ	キ <sup>シ</sup> ハ <sup>コ</sup> カ <sup>イ</sup>	ウ <sup>ロ</sup> コ <sup>ム</sup> シ	<i>Halosydna brevisetosa</i>	ウ <sup>ロ</sup> コ <sup>ム</sup> シ
40			—	—	<i>Lepidonotus</i> sp.	
41			キ <sup>シ</sup> ハ <sup>コ</sup> カ <sup>イ</sup>	キ <sup>シ</sup> ハ <sup>コ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Eulalia</i> sp.	
42			オ <sup>ト</sup> ヒ <sup>メ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	オ <sup>ト</sup> ヒ <sup>メ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	<i>Ophiidromus</i> sp.	
43			シ <sup>リス</sup>	シ <sup>リス</sup>	Syllinae	シ <sup>リス</sup> 亜科
44			コ <sup>カ</sup> イ	コ <sup>カ</sup> イ	<i>Neanthes caudata</i>	ヒ <sup>メ</sup> コ <sup>カ</sup> イ
45			—	—	<i>Nereis heterocirrata</i>	ヒ <sup>ケ</sup> ア <sup>ト</sup> コ <sup>カ</sup> イ
46			—	—	<i>Nereis multignatha</i>	マ <sup>サ</sup> コ <sup>コ</sup> カ <sup>イ</sup>
47			—	—	<i>Perinereis cultrifera</i>	ク <sup>マ</sup> ト <sup>リ</sup> コ <sup>カ</sup> イ
48			—	—	<i>Platynereis bicanaliculata</i>	ウ <sup>メ</sup> ヒ <sup>ケ</sup> コ <sup>カ</sup> イ
49			—	—	<i>Pseudonereis variegata</i>	チ <sup>ン</sup> カ <sup>ク</sup> コ <sup>カ</sup> イ
50			—	—	Nereidae	コ <sup>カ</sup> イ科
51		イ <sup>ソ</sup> メ	イ <sup>ソ</sup> メ	イ <sup>ソ</sup> メ	<i>Eunice</i> sp.	
52			ノ <sup>リ</sup> コ <sup>イ</sup> ソ <sup>メ</sup>	ノ <sup>リ</sup> コ <sup>イ</sup> ソ <sup>メ</sup>	Dorvilleidae	ノ <sup>リ</sup> コ <sup>イ</sup> ソ <sup>メ</sup> 科
53		ス <sup>ビ</sup> オ	ス <sup>ビ</sup> オ	ス <sup>ビ</sup> オ	<i>Polydora</i> sp.	
54		ミ <sup>ス</sup> ヒ <sup>キ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	ミ <sup>ス</sup> ヒ <sup>キ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	ミ <sup>ス</sup> ヒ <sup>キ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	ミ <sup>ス</sup> ヒ <sup>キ</sup> コ <sup>カ</sup> イ
55		—	—	—	<i>Dodeaceria</i> sp.	ド <sup>ド</sup> テ <sup>カ</sup> リ <sup>ア</sup> 属
56		オ <sup>フ</sup> エ <sup>リ</sup> ア <sup>コ</sup> カ <sup>イ</sup>	オ <sup>フ</sup> エ <sup>リ</sup> ア <sup>コ</sup> カ <sup>イ</sup>	オ <sup>フ</sup> エ <sup>リ</sup> ア <sup>コ</sup> カ <sup>イ</sup>	<i>Polyophthalmus pictus</i>	カ <sup>ス</sup> リ <sup>オ</sup> フ <sup>エ</sup> リ <sup>ア</sup>
57		フ <sup>シ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	フ <sup>シ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	フ <sup>シ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	<i>Nicolea</i> sp.	
58		—	—	—	<i>Streblosona</i> sp.	
59		ク <sup>サ</sup> リ	ク <sup>サ</sup> リ	ク <sup>サ</sup> リ	<i>Sabella</i> sp.	
60			カ <sup>ン</sup> サ <sup>シ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	カ <sup>ン</sup> サ <sup>シ</sup> コ <sup>カ</sup> イ	<i>Hydroides ezoensis</i>	コ <sup>ソ</sup> カ <sup>サ</sup> シ <sup>ン</sup> サ <sup>シ</sup>
61			—	—	<i>Pomatoleios krausii</i>	カ <sup>ン</sup> サ <sup>シ</sup> コ <sup>カ</sup> イ
62	星口動物	ホ <sup>シ</sup> ムシ	ホ <sup>シ</sup> ムシ	ホ <sup>シ</sup> ムシ	Phascolosomatidae	ホ <sup>シ</sup> ムシ科
63	節足動物	ウ <sup>ミ</sup> ク <sup>モ</sup>	—	—	PYCNOGONIDA	ウ <sup>ミ</sup> ク <sup>モ</sup> 綱
64		甲 <sup>殻</sup>	フ <sup>シ</sup> ツ <sup>ホ</sup>	フ <sup>シ</sup> ツ <sup>ホ</sup>	<i>Balanus amphitrite</i>	フ <sup>シ</sup> ツ <sup>ホ</sup>
65			—	—	<i>Balanus trigonus</i>	フ <sup>シ</sup> ツ <sup>ホ</sup>
66			タ <sup>ナ</sup> イ <sup>ス</sup>	タ <sup>ナ</sup> イ <sup>ス</sup>	<i>Anatanais normani</i>	ノ <sup>ル</sup> マ <sup>ン</sup> タ <sup>ナ</sup> イ <sup>ス</sup>
67			ウ <sup>ミ</sup> ナ <sup>ナ</sup> フ <sup>シ</sup>	ウ <sup>ミ</sup> ナ <sup>ナ</sup> フ <sup>シ</sup>	Paranthuridae	ウ <sup>ミ</sup> ナ <sup>ナ</sup> フ <sup>シ</sup> 科
68			ウ <sup>ミ</sup> ミ <sup>ス</sup> ム <sup>シ</sup>	ウ <sup>ミ</sup> ミ <sup>ス</sup> ム <sup>シ</sup>	Janiridae	ウ <sup>ミ</sup> ミ <sup>ス</sup> ム <sup>シ</sup> 科
69			ス <sup>ナ</sup> ホ <sup>リ</sup> ム <sup>シ</sup>	ス <sup>ナ</sup> ホ <sup>リ</sup> ム <sup>シ</sup>	<i>Cirolana harfordi japonica</i>	ニ <sup>セ</sup> ス <sup>ナ</sup> ホ <sup>リ</sup> ム <sup>シ</sup>
70			コ <sup>ウ</sup> フ <sup>ム</sup> シ	コ <sup>ウ</sup> フ <sup>ム</sup> シ	<i>Dynoides dentisinus</i>	シ <sup>リ</sup> ケン <sup>ウ</sup> ミ <sup>セ</sup> ミ
71		ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	ヒ <sup>ケ</sup> ナ <sup>カ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	ヒ <sup>ケ</sup> ナ <sup>カ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	<i>Ampithoe</i> sp.	ヒ <sup>ケ</sup> ナ <sup>カ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup> 属
72			コ <sup>ソ</sup> ホ <sup>カ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	コ <sup>ソ</sup> ホ <sup>カ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	Aoridae	コ <sup>ソ</sup> ホ <sup>カ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup> 科
73			ド <sup>ロ</sup> ク <sup>ダ</sup> ム <sup>シ</sup>	ド <sup>ロ</sup> ク <sup>ダ</sup> ム <sup>シ</sup>	<i>Corophium</i> sp.	ド <sup>ロ</sup> ク <sup>ダ</sup> ム <sup>シ</sup> 属
74			—	—	<i>Grandidierella japonica</i>	ニ <sup>ホ</sup> ト <sup>ロ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>
75			カ <sup>テ</sup> ソ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	カ <sup>テ</sup> ソ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	<i>Stenothoe</i> sp.	カ <sup>テ</sup> ソ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup> 属
76			モ <sup>カ</sup> ス <sup>ヨ</sup> コ <sup>エ</sup> ヒ	モ <sup>カ</sup> ス <sup>ヨ</sup> コ <sup>エ</sup> ヒ	<i>Hyale</i> sp.	モ <sup>カ</sup> ス <sup>ヨ</sup> コ <sup>エ</sup> ヒ属
77			イ <sup>ソ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	イ <sup>ソ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>	<i>Elasmopus japonicus</i>	イ <sup>ソ</sup> ヨ <sup>コ</sup> エ <sup>ヒ</sup>
78			エ <sup>ン</sup> マ <sup>ヨ</sup> コ <sup>エ</sup> ヒ	エ <sup>ン</sup> マ <sup>ヨ</sup> コ <sup>エ</sup> ヒ	Dexaminidae	エ <sup>ン</sup> マ <sup>ヨ</sup> コ <sup>エ</sup> ヒ科
79			ウ <sup>レ</sup> カ <sup>ラ</sup>	ウ <sup>レ</sup> カ <sup>ラ</sup>	<i>Caprella penantis</i>	マ <sup>カ</sup> エ <sup>ラ</sup> ウ <sup>レ</sup> カ <sup>ラ</sup>
80			—	—	<i>Caprella scaura diceros</i>	ト <sup>ケ</sup> ウ <sup>レ</sup> カ <sup>ラ</sup>

表4-3-5-7(2) 付着生物出現種一覧(坪刈り：動物) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日							
番号	門	綱	目	科	学名	和名	
81	節足動物	甲殻	エビ	ホンヤト	<i>Pagurus nigrofascia</i>	トビキホンヤト	
82				カコ	<i>Pachycheles stevensii</i>	コフカコ	
83				オウギ	<i>Pilumnus minutus</i>	ヒメウギ	
84					<i>Sphaerozium nitidus</i>	スベスベウギ	
85				イワ	<i>Gaetice depressus</i>	ヒライワ	
86					<i>Nanosesarma gordonii</i>	ヒメナンケイ	
87					<i>Pugettia quadridens quadridens</i>	ヨウバモカ	
88	触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.		
89		コケムシ	フタコケムシ	フタコケムシ	Bugulidae	フタコケムシ科	
90				トケコケムシ	Scrupocellariidae	トケコケムシ科	
91				モンクチコケムシ	Cheiloporinidae	モンクチコケムシ科	
92				—	BRYOZOA	コケムシ綱	
93	棘皮動物	ヒトデ	トケヒトデ	アステリナ	<i>Asterina pectinifera</i>	イトマキヒトデ	
94		クモヒトデ	—	—	OPHIUROIDEA	クモヒトデ綱	
95		ナマコ	—	—	—	HOLOTHUROIDEA	ナマコ綱
96	原索動物	ホヤ	ヒメホヤ	ホリクリ	Polyclinidae	ホリクリ科	
97				ジテム	Didemnidae	ジテム科	
98				キオナ	<i>Ciona intestinalis</i>	カタコウレイホヤ	
99				マホヤ	ボトリルス	Botryllidae	ボトリルス科
100					スチエラ	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>	クロマエイホヤ
101						Styelidae	スチエラ科
102			ピウラ	Pyuridae	ピウラ科		
103	脊椎動物	硬骨魚	ススキ	イナギンボ	<i>Pictiblenius yatabei</i>	イナギンボ	

表4-3-5-8(1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数) [令和3年度冬季分]

番号	学名	調査点 層	St. A			St. B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
			1	DEMOSPONGIAE		*	*		
2	<i>Haliplanella lineata</i>	551						551	
3	ACTINIARIA		135	51			138	324	
4	POLYCLADIDA		8	4		6	3	21	
5	NEMERTINEA	21	32	88		4	12	157	
6	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>	15	1			11	9	36	
7	<i>Liolophura japonica</i>	3						3	
8	<i>Patelloida saccharina</i>				1			1	
9	<i>Patelloida pygmaea</i>	4						4	
10	<i>Collisella</i> sp.	6						6	
11	<i>Omphalius rusticus</i>					2	9	11	
12	<i>Cantharidus japonicus</i>						1	1	
13	<i>Littorina brevicula</i>	1						1	
14	<i>Alvania concinna</i>					1	251	252	
15	<i>Diala varia</i>						2	2	
16	<i>Serpulorbis imbricatus</i>					1	5	6	
17	<i>Crepidula onyx</i>		1			1	3	5	
18	<i>Thais bronni</i>			1			2	3	
19	<i>Thais clavigera</i>	4				2		6	
20	<i>Mitrella bicincta</i>					1	9	10	
21	<i>Alexania inazawai</i>	2						2	
22	Pyramidellidae						2	2	
23	<i>Haloa japonica</i>					10	58	68	
24	NUDIBRANCHIA		4	2				6	
25	<i>Siphonaria japonica</i>	2						2	
26	<i>Siphonaria sirius</i>				2			2	
27	egg of GASTROPODA						*	*	
28	<i>Barbatia virescens</i>	2						2	
29	<i>Limnoperna fortunei kikuchii</i>	6						6	
30	<i>Modiolus nipponicus</i>						1	1	
31	<i>Musculista senhousia</i>						4	4	
32	<i>Musculus cupreus</i>		1	3				4	
33	<i>Mytilus edulis</i>	5	1					6	
34	<i>Crassostrea gigas</i>	9						9	
35	<i>Chama</i> sp.						1	1	
36	Lasaeidae	1						1	
37	<i>Claudiconcha japonica</i>	17						17	
38	Petricolidae	31	18	13		20	39	121	
39	<i>Halosydna brevisetosa</i>			11		8	4	23	
40	<i>Lepidonotus</i> sp.	9	1			5		15	
41	<i>Eulalia</i> sp.	10	10	5		7		32	
42	<i>Ophiodromus</i> sp.	8	61	32		55	3	159	
43	Syllinae	4	78	182		17	17	298	
44	<i>Neanthes caudata</i>					1	14	15	
45	<i>Nereis heterocirrata</i>	43	1	8				52	
46	<i>Nereis multignatha</i>		1	8				9	
47	<i>Perinereis cultrifera</i>		2			11	4	17	
48	<i>Platynereis bicanaliculata</i>						2	2	
49	<i>Pseudonereis variegata</i>	24						24	
50	Nereidae						1	1	
51	<i>Eunice</i> sp.		1				3	4	
52	Dorvilleidae					6	6	12	
53	<i>Polydora</i> sp.					2		2	
54	<i>Cirriformia tentaculata</i>			8		250	392	650	
55	<i>Dodecaceria</i> sp.		1,751	1,216				2,967	
56	<i>Polyophthalmus pictus</i>					1		1	
57	<i>Nicolea</i> sp.			1		38		39	
58	<i>Streblosoma</i> sp.		1	14		4	26	45	
59	<i>Sabella</i> sp.		37	32				69	
60	<i>Hydroides ezoensis</i>	1	481	548		704	2,215	3,949	
61	<i>Pomatoleios krausii</i>	52						52	
62	Phascolosomatidae					1		1	
63	PYCNOGONIDA		4	5				9	
64	<i>Balanus amphitrite</i>	1						1	
65	<i>Balanus trigonus</i>	1	34	173			3	211	
66	<i>Anatanais normani</i>				16	270	664	950	
67	Paranthuridae	1				3	2	7	
68	Janiridae	30	153	80	9	26	8	306	
69	<i>Cirolana harfordi japonica</i>	1						1	
70	<i>Dynoides dentisinus</i>	89				6		95	
71	<i>Ampithoe</i> sp.				3	28	4	35	
72	Aoridae	62	39	53	2			156	
73	<i>Corophium</i> sp.	21		44	4	71	62	202	
74	<i>Grandierella japonica</i>						8	8	
75	<i>Stenothoe</i> sp.	11	90	38	2			141	
76	<i>Hyale</i> sp.	3			1			4	
77	<i>Elasmopus japonicus</i>	40	9	25		18		92	
78	Dexaminidae		4					4	
79	<i>Caprella penantis</i>	18	8	22	1	20	2	71	
80	<i>Caprella scaura diceros</i>						5	5	

注：1. 「\*」は群体性の種の出現を示す。

2. 個体数の数値は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m<sup>2</sup>あたりで示す。

表4-3-5-8(2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数) [令和3年度冬季分]

		調査年月日：令和4年2月8日							
番号	学名	調査点 層	St.A			St.B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
81	<i>Pagurus nigrofascia</i>					1	3	4	
82	<i>Pachycheles stevensii</i>				1			1	
83	<i>Pilumnus minutus</i>			16	65			81	
84	<i>Sphaerozoides nitidus</i>			50	25			75	
85	<i>Gaetice depressus</i>					25	1	26	
86	<i>Nanosarman gordonii</i>		20					20	
87	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			1			2	3	
88	<i>Phoronis</i> sp.				2		56	58	
89	Bugulidae		*	*	*			*	
90	Scrupocellariidae			*	*			*	
91	Cheiloporinidae			*				*	
92	BRYOZOA				*			*	
93	<i>Asterina pectinifera</i>						1	1	
94	OPHIUROIDEA			40	101		11	152	
95	HOLOTHUROIDEA				1			1	
96	Polyclinidae			*	*			*	
97	Didemnidae				*			*	
98	<i>Ciona intestinalis</i>			2			1	3	
99	Botryllidae				*			*	
100	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>			*	*			*	
101	Styelidae			22	1			23	
102	Pyuridae			2	57			59	
103	<i>Pictiblenius yatabei</i>			2	1			3	
	種類数		39	43	44	13	37	49	
	合計		1,129	3,102	2,921	49	1,645	4,213	
								13,059	

注：1. 「\*」は群体性の種の出現を示す。

2. 個体数の数値は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m<sup>2</sup>あたりで示す。

表4-3-5-9(1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

番号	学名	調査点 層	St. A			St. B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	DEMOSPONGIAE			22.50	12.31			0.76	35.57
2	<i>Haliplanella lineata</i>		20.22						20.22
3	ACTINIARIA			0.91	0.62			0.69	2.22
4	POLYCLADIDA			0.24	0.34		0.15	0.07	0.80
5	NEMERTINEA		0.13	0.59	1.08		0.06	0.13	1.99
6	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>		2.70	0.02			1.36	1.89	5.97
7	<i>Liolophura japonica</i>		2.05						2.05
8	<i>Patelloida saccharina</i>					0.85			0.85
9	<i>Patelloida pygmaea</i>		0.05						0.05
10	<i>Collisella</i> sp.		0.61						0.61
11	<i>Omphalius rusticus</i>						1.18	11.34	12.52
12	<i>Cantharidus japonicus</i>							0.04	0.04
13	<i>Littorina brevicula</i>		0.27						0.27
14	<i>Alvania concinna</i>						+	0.82	0.82
15	<i>Diala varia</i>							+	+
16	<i>Serpulorbis imbricatus</i>						0.80	10.35	11.15
17	<i>Crepidula onyx</i>			2.63			0.03	3.28	5.94
18	<i>Thais bronni</i>				0.32			6.74	7.06
19	<i>Thais clavigera</i>		2.91				2.48		5.39
20	<i>Mitrella bicincta</i>						0.18	1.50	1.68
21	<i>Alexania inazawai</i>		+						+
22	Pyramidellidae							+	+
23	<i>Haloa japonica</i>						0.17	1.70	1.87
24	NUDIBRANCHIA			0.33	0.62				0.95
25	<i>Siphonaria japonica</i>		0.35						0.35
26	<i>Siphonaria sirius</i>					2.41			2.41
27	egg of GASTROPODA							0.32	0.32
28	<i>Barbatia virescens</i>		0.24						0.24
29	<i>Limnoperna fortunei kikuchii</i>		0.16						0.16
30	<i>Modiolus nipponicus</i>							0.02	0.02
31	<i>Musculista senhousia</i>							0.04	0.04
32	<i>Musculus cupreus</i>			0.04	0.02				0.06
33	<i>Mytilus edulis</i>		0.11	0.04					0.15
34	<i>Crassostrea gigas</i>		15.04						15.04
35	<i>Chama</i> sp.							0.05	0.05
36	Lasaeidae		+						+
37	<i>Claudiconcha japonica</i>		1.58						1.58
38	Petricolidae		1.13	1.40	0.88		3.00	1.97	8.38
39	<i>Halosydna brevisetosa</i>				0.58		0.46	0.14	1.18
40	<i>Lepidonotus</i> sp.		0.06	0.02			0.17		0.25
41	<i>Eulalia</i> sp.		0.05	0.43	0.09		0.09		0.66
42	<i>Ophiodromus</i> sp.		0.03	2.21	0.08		0.29	0.03	2.64
43	Syllinae		0.05	0.31	1.05		0.07	0.15	1.63
44	<i>Neanthes caudata</i>						+	0.12	0.12
45	<i>Nereis heterocirrata</i>		1.08	0.03	0.13				1.24
46	<i>Nereis multignatha</i>			+	0.07				0.07
47	<i>Perinereis cultrifera</i>			0.05			0.47	0.27	0.79
48	<i>Platynereis bicanaliculata</i>							0.21	0.21
49	<i>Pseudonereis variegata</i>		0.28						0.28
50	Nereidae							0.01	0.01
51	<i>Eunice</i> sp.			0.03				0.23	0.26
52	Dorvilleidae						0.01	0.03	0.04
53	<i>Polydora</i> sp.						0.02		0.02
54	<i>Cirriformia tentaculata</i>				0.79		4.06	7.12	11.97
55	<i>Dodecaceria</i> sp.			4.24	1.03				5.27
56	<i>Polyopthalmus pictus</i>						+		+
57	<i>Nicolea</i> sp.				0.50		1.30		1.80
58	<i>Strebilosoma</i> sp.			0.10	0.92		0.21	1.24	2.47
59	<i>Sabella</i> sp.			0.83	0.51				1.34
60	<i>Hydroides ezoensis</i>		+	5.73	0.87		7.28	29.75	43.63
61	<i>Pomatoleios krausii</i>		0.26						0.26
62	Phascolosomatidae						0.02		0.02
63	PYCNOGONIDA			0.01	+				0.01
64	<i>Balanus amphitrite</i>		0.02						0.02
65	<i>Balanus trigonus</i>		0.09	6.94	55.51			0.07	62.61
66	<i>Anatanais normani</i>					0.01	0.21	0.58	0.80
67	Paranthuridae		+			+	+	+	+
68	Janiridae		0.03	0.15	0.19	0.01	0.01	0.01	0.40
69	<i>Cirolana harfordi japonica</i>		0.04						0.04
70	<i>Dynoides dentisinus</i>		0.27			0.02			0.29
71	<i>Ampithoe</i> sp.					+	0.32	0.09	0.41
72	Aoridae		0.07	0.04	0.08	+			0.19
73	<i>Corophium</i> sp.		0.03		0.08	+	0.05	0.06	0.22
74	<i>Grandidierella japonica</i>							0.03	0.03
75	<i>Stenothoe</i> sp.		0.01	0.11	0.03	+			0.15
76	<i>Hyale</i> sp.		0.02			0.01			0.03
77	<i>Elasmopus japonicus</i>		0.03	0.05	0.10		0.10		0.28
78	Dexaminidae			+					+
79	<i>Caprella penantis</i>		0.02	0.02	0.11	+	0.10	+	0.25
80	<i>Caprella scaura diceros</i>							+	+

注：1. 「+」は0.01g未満を示す。

2. 湿重量の数値は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m<sup>2</sup>あたりで示す。

表4-3-5-9(2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月8日

番号	学名	調査点 層	St. A			St. B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
81	<i>Pagurus nigrofascia</i>					0.19	0.52		0.71
82	<i>Pachycheles stevensii</i>				0.02				0.02
83	<i>Pilumnus minutus</i>			0.08	0.54				0.62
84	<i>Sphaerozium nitidus</i>			5.46	3.17				8.63
85	<i>Gaetice depressus</i>						2.06	0.07	2.13
86	<i>Nanosarcoma gordonii</i>		0.53						0.53
87	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			0.22				0.40	0.62
88	<i>Phoronis</i> sp.				0.01			0.48	0.49
89	Bugulidae		+	23.12	136.03			+	159.15
90	Scrupocellariidae			89.40	2.30			+	91.70
91	Cheiloporinidae			0.07					0.07
92	BRYOZOA				+				+
93	<i>Asterina pectinifera</i>							1.87	1.87
94	OPHUROIDEA			0.19	0.70		0.03	0.30	1.22
95	HOLOTHUROIDEA				1.15				1.15
96	Polyclinidae			10.21	35.34				45.55
97	Didemnidae				0.38				0.38
98	<i>Ciona intestinalis</i>			1.34			0.07		1.41
99	Botryllidae				7.52				7.52
100	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>			2.52	6.40				8.92
101	Styelidae			3.64	0.38			0.41	4.43
102	Pyuridae			4.88	83.13				88.01
103	<i>Pictiblenius yatabei</i>			0.59	0.47				1.06
	種類数		39	43	44	13	37	49	103
	合計		50.52	191.72	356.45	3.50	27.33	85.38	714.90

注：1. 「+」は0.01g未満を示す。

2. 湿重量の数値は0.09m<sup>2</sup>あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m<sup>2</sup>あたりで示す。

表 4 - 3 - 6 - 1 漁獲対象動植物調査結果概要(刺網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月24日～25日

項目 \ 調査点	St. イ	
種類数	魚類	7
	甲殻類	3
	頭足類	0
	その他	0
	合計	10
個体数	魚類	14
	甲殻類	4
	頭足類	0
	その他	0
	合計	18
湿重量 (g)	魚類	4,845.7
	甲殻類	88.5
	頭足類	0.0
	その他	0.0
	合計	4,934.2

注：個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

表4-3-6-2 漁獲対象動植物調査結果(刺網：主要種) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月24日～25日

項目 \ 調査点		St.イ	
主    要	個体数   (カッコ内は 組成比%)	魚類	マコガレイ 7 ( 50.0) アカエイ 2 ( 14.3) マイワシ 1 ( 7.1) カタクチイワシ 1 ( 7.1) スズキ 1 ( 7.1) マサバ 1 ( 7.1) イヌノシタ 1 ( 7.1)
		甲殻類	フタホシイシガニ 2 ( 50.0) ヘイケガニ 1 ( 25.0) イシガニ 1 ( 25.0)
		頭足類	
		その他	
種	湿重量   (g) (カッコ内は 組成比%)	魚類	マコガレイ 2,758.7 ( 56.9) スズキ 790.0 ( 16.3) アカエイ 706.8 ( 14.6) イヌノシタ 473.6 ( 9.8)
		甲殻類	イシガニ 75.6 ( 85.4) ヘイケガニ 6.6 ( 7.5) フタホシイシガニ 6.3 ( 7.1)
		頭足類	
		その他	

注：1. 個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。  
2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種（ただし組成比5%以上のもの）を示す。



表 4-3-6-3 漁獲対象動植物調査結果(刺網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月24日～25日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	湿重量 (g)
1	節足動物門	甲殻綱	十脚目	ヘイケガニ科	<i>Neodrippe japonica</i>	ヘイケガニ	1	6.6
2				ワタリガニ科	<i>Charybdis bimaculata</i>	フタホシイシガニ	2	6.3
3					<i>Charybdis japonica</i>	イシガニ	1	75.6
4	脊椎動物門	軟骨魚綱	エイ目	アカエイ科	<i>Dasvatis akaiei</i>	アカエイ	2	706.8
5		硬骨魚綱	ニシン目	ニシン科	<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ	1	54.4
6				カタクチイワシ科	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ	1	1.9
7			スズキ目	スズキ科	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	1	790.0
8				サバ科	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ	1	60.3
9			カレイ目	カレイ科	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ	7	2,758.7
10				ウシノシタ科	<i>Cynoglossus robustus</i>	イヌノシタ	1	473.6

注：個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

表 4-3-6-4 漁獲対象動植物測定結果概要(刺網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月24日～25日

番号	和名	総個体数	湿重量 (g)			全長 (mm)		
			最大	最小	中央値	最大	最小	中央値
1	ヘイケガニ	1	6.6	6.6	6.6	25	25	25
2	フタホシイシガニ	2	3.9	2.4	3.2	18	14	16
3	イシガニ	1	75.6	75.6	75.6	53	53	53
4	アカエイ	2	478.6	228.2	353.4	465	422	444
5	マイワシ	1	54.4	54.4	54.4	192	192	192
6	カタクチイワシ	1	1.9	1.9	1.9	71	71	71
7	スズキ	1	790.0	790.0	790.0	456	456	456
8	マサバ	1	60.3	60.3	60.3	199	199	199
9	マコガレイ	7	783.8	223.3	373.7	375	264	289
10	イヌノシタ	1	473.6	473.6	473.6	432	432	432

注：表中の全長の計測部位を以下に示す。

魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、  
 プンプク：長径

表4-3-6-5 漁獲対象動植物測定結果(刺網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月24日～25日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
1	ヘイケガニ	1	6.6	25	28		
2	フタホシイシガニ	1	3.9	18	25		
3		2	2.4	14	20		
4	イシガニ	1	75.6	53	75		
5	アカエイ	1	478.6	465	185		
6		2	228.2	422	150		
7	マイワシ	1	54.4	192	164		
8	カタクチイワシ	1	1.9	71	62		
9	スズキ	1	790.0	456	374		
10	マサバ	1	60.3	199	165		
11	マコガレイ	1	783.8	375	313		
12		2	373.7	316	260		
13		3	397.3	289	243		
14		4	397.1	315	262		
15		5	223.3	264	217		
16		6	256.1	270	222		
17		7	327.4	270	225		
18	イヌノシタ	1	473.6	432	406		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブンプク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、ブンプク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表 4-3-6-6 漁獲対象動植物調査結果概要(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

項目 \ 調査点	St.イ	
種類数	魚類	7
	甲殻類	12
	頭足類	1
	その他	4
	合計	24
個体数	魚類	36
	甲殻類	413
	頭足類	1
	その他	46
	合計	496
湿重量 (g)	魚類	8,309.8
	甲殻類	656.6
	頭足類	16.0
	その他	1,248.5
	合計	10,230.9

注：個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

表4-3-6-7 漁獲対象動植物調査結果（底引網：主要種） [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

項目 \ 調査点		St.イ	
主	個体数	魚類	ハタタテヌメリ 22 ( 61.1) マコガレイ 5 ( 13.9) イヌノシタ 4 ( 11.1) シロギス 2 ( 5.6)
		甲殻類	フタホシイシガニ 298 ( 72.2) テナガコブシ 50 ( 12.1) エビジャコ 21 ( 5.1)
	(カッコ内は組成比%)	頭足類	ジンドウイカ 1 (100.0)
		その他	トリガイ 38 ( 82.6) アカガイ 3 ( 6.5) タイラギ 3 ( 6.5)
種	湿重量 (g)	魚類	アカエイ 6,400.0 ( 77.0) イヌノシタ 886.1 ( 10.7) クロダイ 603.8 ( 7.3)
		甲殻類	フタホシイシガニ 415.8 ( 63.3) テナガコブシ 152.9 ( 23.3)
	(カッコ内は組成比%)	頭足類	ジンドウイカ 16.0 (100.0)
		その他	トリガイ 1,093.2 ( 87.6) アカガイ 118.0 ( 9.5)

注：1. 個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種（ただし組成比5%以上のもの）を示す。

表4-3-6-8 漁獲対象動物調査結果(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	湿重量 (g)					
1	軟体動物門	二枚貝綱	真多歯目	フネガイ科	<i>Scapharca broughtonii</i>	アカガイ	3	118.0					
2			翼形目	ハボウキガイ科	<i>Atrina pectinata</i>	タイラギ	3	26.5					
3			異歯目	ザルガイ科	<i>Fulvia mutica</i>	トリガイ	38	1,093.2					
4	節足動物門	甲殻綱	ツツイカ目	ジンドウイカ科	<i>Loligo japonica</i>	ジンドウイカ	1	16.0					
5			十脚目	クルマエビ科	<i>Metapenaeopsis acclivis</i>	トラエビ	5	4.2					
6					<i>Trachypenaeus curvirostris</i>	サルエビ	12	14.5					
7					テッポウエビ科	<i>Alpheus</i>	テッポウエビ属	1	1.7				
8					エビジャコ科	<i>Crangon affinis</i>	エビジャコ	21	31.5				
9					テナガエビ科	<i>Palaemon</i>	スジエビ属	1	0.8				
10					ヘイケガニ科	<i>Neodrippe japonica</i>	ヘイケガニ	5	11.0				
11					エンコウガニ科	<i>Carcinoplax vestita</i>	ケブカエンコウガニ	1	0.4				
12					コブシガニ科	<i>Arcania heptacantha</i>	ナナトゲコブシ	15	19.9				
13						<i>Myra fugax</i>	テナガコブシ	50	152.9				
14						<i>Philyra heterograna</i>	ヘリトリコブシ	3	3.4				
15						クモガニ科	<i>Pvromaia tuberculata</i>	イッカククモガニ	1	0.5			
16					ワタリガニ科	<i>Charybdis bimaculata</i>	フタホシイシガニ	298	415.8				
17					棘皮動物門	ヒトデ綱	頭帯目	スナヒトデ科	<i>Luidia quinaria</i>	スナヒトデ	2	10.8	
18					脊椎動物門	軟骨魚綱	硬骨魚綱	エイ目	アカエイ科	<i>Dasvatis akajei</i>	アカエイ	1	6,400.0
19								スズキ目	キス科	<i>Sillago japonica</i>	シロギス	2	9.7
20	タイ科	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ	1						603.8			
21	ネスッポ科	<i>Repomucenus valenciennae</i>	ハタタテヌメリ	22						60.1			
22	カレイ目	カレイ科	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ						5	193.0		
23			<i>Pleuronichthys cornutus</i>	メイタガレイ						1	157.1		
24			ウシノシタ科	<i>Cynoglossus robustus</i>						イヌノシタ	4	886.1	

注：個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

表4-3-6-9 漁獲対象動物測定結果概要(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

番号	和名	総個体数	湿重量 (g)			全長 (mm)		
			最大	最小	中央値	最大	最小	中央値
1	アカガイ	3	73.4	16.5	28.1	61	40	49
2	タイラギ	3	16.5	2.5	7.5	49	21	35
3	トリガイ	38	59.7	12.6	26.6	65	44	51
4	ジンドウイカ	1	16.0	16.0	16.0	146	146	146
5	トラエビ	5	1.4	0.5	0.8	63	47	52
6	サルエビ	12	2.0	0.6	1.2	64	42	53
7	テッポウエビ属	1	1.7	1.7	1.7	69	69	69
8	エビジャコ	21	2.2	0.6	1.6	66	42	59
9	スジエビ属	1	0.8	0.8	0.8	41	41	41
10	ヘイケガニ	5	4.1	0.3	2.1	25	12	20
11	ケブカエンコウガニ	1	0.4	0.4	0.4	9	9	9
12	ナナトゲコブシ	15	1.8	0.5	1.3	21	12	17
13	テナガコブシ	50	4.9	0.6	3.3	29	16	25
14	ヘリトリコブシ	3	1.5	0.6	1.3	16	13	15
15	イッカククモガニ	1	0.5	0.5	0.5	14	14	14
16	フタホシイシガニ	298	4.7	1.2	2.0	21	12	15
17	スナヒトデ	2	6.7	4.1	5.4	52	44	48
18	アカエイ	1	6,400.0	6,400.0	6,400.0	1,090	1,090	1,090
19	シロギス	2	6.1	3.6	4.9	99	86	93
20	クロダイ	1	603.8	603.8	603.8	345	345	345
21	ハタタテヌメリ	22	6.0	0.9	2.6	111	50	76
22	マコガレイ	5	126.2	3.1	5.7	200	62	75
23	メイタガレイ	1	157.1	157.1	157.1	213	213	213
24	イヌノシタ	4	389.3	73.3	211.8	409	225	324

注：表中の全長の計測部位を以下に示す。

魚類・エビ・ジャコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長  
 プンブク：長径

表4-3-6-10(1) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
1	アカガイ	1	73.4	61	50		
2		2	28.1	49	36		
3		3	16.5	40	29		
4	タイラギ	1	2.5	21	52		
5		2	7.5	35	79		
6		3	16.5	49	93		
7	トリガイ	1	43.6	56	51		
8		2	35.3	52	46		
9		3	29.7	49	42		
10		4	23.4	50	41		
11		5	21.4	52	46		割れ有り
12		6	22.6	47	39		
13		7	18.2	46	40		
14		8	29.4	51	46		
15		9	42.0	55	49		
16		10	20.0	44	38		
17		11	35.2	52	45		
18		12	32.5	61	52		
19		13	32.8	51	46		
20		14	17.4	49	39		割れ有り
21		15	25.3	47	43		
22		16	32.5	51	46		
23		17	26.9	47	41		
24		18	26.3	55	44		割れ有り
25		19	27.9	55	44		
26		20	28.9	49	43		
27		21	20.5	50	44		
28		22	12.6	47	40		
29		23	28.9	51	46		
30		24	22.4	49	45		割れ有り
31		25	25.9	47	43		
32		26	17.0	47	41		
33		27	20.6	49	44		割れ有り
34		28	59.7	65	55		
35		29	20.5	47	41		
36		30	36.3	57	49		
37		31	39.8	57	52		
38		32	21.8	46	40		
39		33	25.8	54	44		割れ有り
40	34	23.0	47	44			
41	35	37.0	54	48			
42	36	20.2	50	44		割れ有り	
43	37	40.6	53	49			
44	38	49.3	58	54			
45	ジンドウイカ	1	16.0	146	71		
46	トラエビ	1	1.4	63	55	17	
47		2	0.8	52	41	10	
48		3	0.7	47	38	9	
49		4	0.5	52	43	8	
50		5	0.8	47	41	11	

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブンブク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、ブンブク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表4-3-6-10(2) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
51	サルエビ	1	0.7	47	39	11	
52		2	0.6	42	37	9	
53		3	2.0	64	55	15	
54		4	0.8	46	42	11	
55		5	1.3	54	48	13	
56		6	0.9	47	42	11	
57		7	1.2	53	49	13	
58		8	1.9	63	58	16	
59		9	1.3	52	47	13	
60		10	1.1	51	47	14	
61		11	1.2	54	48	14	
62		12	1.5	58	53	16	
63	テッポウエビ属	1	1.7	69	42	14	
64	エビジャコ	1	1.6	55	49	11	
65		2	1.8	57	48	12	
66		3	1.3	54	47	11	
67		4	1.6	59	49	11	
68		5	1.6	61	52	13	
69		6	1.3	54	47	11	
70		7	1.2	56	47	10	
71		8	1.5	61	52	11	
72		9	1.8	61	51	12	
73		10	2.0	64	53	14	
74		11	1.5	59	48	11	
75		12	1.7	61	52	12	
76		13	1.7	62	51	12	
77		14	1.4	56	45	11	
78		15	1.6	61	51	12	
79		16	1.3	55	46	9	
80		17	1.4	56	45	10	
81		18	2.2	66	56	14	
82		19	1.6	62	51	13	
83		20	0.8	53	45	11	
84		21	0.6	42	35	8	
85	スジエビ属	1	0.8	41	41	11	頭部欠損有り
86	ヘイケガニ	1	2.6	21	18		
87		2	0.3	12	9		
88		3	4.1	25	20		
89		4	1.9	20	16		
90		5	2.1	20	16		
91	ケブカエンコウガニ	1	0.4	9	11		
92	ナナトゲコブシ	1	1.2	17	16	24	
93		2	0.5	12	12	16	
94		3	1.3	19	17	27	
95		4	1.2	18	16	23	
96		5	1.3	17	16	23	
97		6	1.2	17	16	22	
98		7	1.6	18	17	27	
99		8	1.5	19	18	25	
100		9	1.2	17	15	23	

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブンブク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、ブンブク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表4-3-6-10(3) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
101	ナナトゲコブシ	10	1.3	17	16	23	
102		11	1.7	19	17	26	
103		12	1.5	17	15	24	
104		13	1.8	21	19	27	
105		14	1.2	17	15	24	
106		15	1.4	17	16	23	
107	テナガコブシ	1	4.0	29	22		
108		2	3.3	27	20		
109		3	1.5	19	16		
110		4	2.8	25	19		
111		5	2.6	26	20		
112		6	3.4	25	19		
113		7	2.4	24	19		
114		8	3.6	26	21		
115		9	3.6	26	21		
116		10	2.7	24	20		
117		11	2.7	24	19		
118		12	2.5	25	19		
119		13	1.7	23	18		
120		14	3.6	26	21		
121		15	3.0	25	19		
122		16	3.8	27	22		
123		17	1.3	18	15		
124		18	1.3	21	16		
125		19	1.6	22	17		
126		20	3.8	26	22		
127		21	4.8	27	23		
128		22	2.2	25	20		
129		23	3.9	28	23		
130		24	3.5	25	21		
131		25	4.7	29	24		
132		26	4.3	28	23		
133		27	4.9	27	22		
134		28	3.8	25	20		
135		29	1.2	17	13		
136		30	4.8	27	21		
137		31	3.6	25	20		
138		32	4.2	26	21		
139		33	3.2	23	19		
140		34	4.0	25	20		
141		35	3.5	24	19		
142		36	4.0	24	20		
143		37	2.9	23	18		
144		38	1.4	19	17		
145	39	2.7	24	20			
146	40	3.7	25	20			
147	41	2.8	23	18			
148	42	1.5	19	15			
149	43	2.7	21	17			
150	44	3.9	26	21			

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、  
 プンプク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、  
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンプク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長



表4-3-6-10(4) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
151	テナガゴブシ	45	3.6	25	20		
152		46	3.1	24	19		
153		47	3.9	23	19		
154		48	3.1	24	20		
155		49	1.2	16	12		
156		50	0.6	17	13		
157	ヘリトリゴブシ	1	0.6	13	12		
158		2	1.5	16	15		
159		3	1.3	15	14		
160	イッカクモガニ	1	0.5	14	10		
161	フタホシイシガニ	1	2.7	16	23		
162		2	2.4	16	23		
163		3	2.2	15	24		
164		4	1.9	14	21		
165		5	2.3	16	23		
166		6	2.1	15	22		
167		7	2.0	15	22		
168		8	1.7	15	21		
169		9	2.5	16	24		
170		10	2.0	15	20		
171		11	2.9	17	24		
172		12	2.3	17	21		
173		13	1.7	15	22		
174		14	3.1	14	18		
175		15	2.5	15	23		
176		16	2.2	17	22		
177		17	1.6	14	20		
178		18	2.3	15	20		
179		19	2.7	16	24		
180		20	1.7	14	21		
181		21	3.3	17	25		
182		22	1.9	15	21		
183		23	1.7	14	19		
184		24	2.1	15	23		
185		25	2.0	15	21		
186		26	2.7	16	23		
187		27	2.2	15	22		
188		28	1.9	15	20		
189		29	1.5	14	20		
190		30	1.9	14	21		
191		31	2.2	16	21		
192		32	1.7	14	20		
193		33	1.5	14	20		
194		34	1.8	14	21		
195		35	1.3	14	18		
196		36	2.1	15	22		
197		37	1.5	13	19		
198		38	1.8	14	20		
199		39	1.9	14	21		
200	40	1.5	14	22			

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブンブク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、ブンブク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表4-3-6-10(5) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和3年度冬季分]

調査年月日：令和4年2月25日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
201	フタホシイシガニ	41	1.6	13	19		
202		42	2.3	14	21		
203		43	1.5	15	22		
204		44	2.3	15	22		
205		45	2.1	15	22		
206		46	1.4	13	21		
207		47	1.8	15	21		
208		48	1.9	14	22		
209		49	2.3	16	22		
210		50	2.2	15	21		
211		51	521.8				計測以外248
212	スナヒトデ	1	6.7	52	12		欠損有り
213		2	4.1	44	11		欠損有り
214	アカエイ	1	6,400.0	1,090	510		
215	シロギス	1	3.6	86	75		
216		2	6.1	99	85		
217	クロダイ	1	603.8	345	273		
218	ハタタテヌメリ	1	3.1	80	63		
219		2	4.5	90	72		
220		3	0.9	50	41		
221		4	2.6	75	62		
222		5	2.7	77	58		
223		6	2.6	73	55		
224		7	1.0	60	49		
225		8	5.2	98	77		
226		9	2.3	76	63		
227		10	1.5	60	50		
228		11	1.2	61	50		
229		12	2.1	65	51		
230		13	3.4	82	68		
231		14	6.0	111	76		
232		15	3.9	82	65		
233		16	1.2	60	48		
234		17	1.8	70	55		
235		18	3.7	81	63		
236		19	2.0	72	60		
237		20	3.0	80	62		
238		21	3.1	77	63		
239		22	2.3	70	56		
240	マコガレイ	1	5.7	75	60		
241		2	4.0	63	51		
242		3	3.1	62	50		
243		4	54.0	156	131		
244		5	126.2	200	170		
245	メイタガレイ	1	157.1	213	170		
246	イヌノシタ	1	307.1	383	365		
247		2	389.3	409	390		
248		3	116.4	265	252		
249		4	73.3	225	212		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。  
 全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、  
 プンプク：長径  
 体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、  
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンプク：短径  
 その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

#### 4-3 ダイオキシン類調査結果

##### 4-3-1 水質調査結果

分析結果概要を表4-3-1-1、同族体および異性体別測定結果を表4-3-1-2に示す。

本調査の結果は、0.061pg-TEQ/Lであり、環境基準を下回っていた。

表4-3-1-1 分析結果概要（水質）

試料名	試験項目	実測濃度 (pg/L)	毒性当量
			(pg-TEQ/L)
St.S-1	PCDDs+PCDFs	3.3	0.044
	Co-PCBs	11	0.017
	<b>ダイオキシン類</b>	-	<b>0.061</b>

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2,3,7,8-T<sub>4</sub>CDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs, PCDFs : WHO/IPCS (2006)

Co-PCBs : WHO/IPCS (2006)

毒性当量は検出下限未満のものは、試料における検出下限の1/2の値を用いて算出したものである。

表4-3-1-2 ダイオキシン類調査結果 (水質: St. S-1)

試料名		St.S-1		試料媒体		水質	
採取日		2022年2月8日		試料量 (L)		19.6	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
					pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.01	0.04	0.11	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.01	0.04	0.05	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.01	0.04	N.D.	×1 0	×1 0.005	
	TeCDDs	0.01	0.04	0.16	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01	
	PeCDDs	0.02	0.07	( 0.03 )	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.17	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	HxCDDs	0.05	0.17	0.18	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.02	0.06	0.12	×0.01 0.0012	×0.01 0.0012	
	HpCDDs	0.02	0.06	0.41	—	—	
	OCDD	0.02	0.08	2.1	×0.0003 0.00063	×0.0003 0.00063	
	Total PCDDs	—	—	2.8	0.0018	0.024	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.09	0.19	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.04	0.14	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0006	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.05	0.16	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0075	
	PeCDFs	0.04	0.14	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.04	0.13	N.D.	0	0.002	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.04	0.14	N.D.	0	0.002	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	0	0.0025	
	HxCDFs	0.04	0.13	( 0.08 )	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.11	( 0.05 )	×0.01 0	×0.01 0.0005	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.03	0.11	( 0.09 )	—	—	
OCDF	0.05	0.17	( 0.08 )	×0.0003 0	×0.0003 0.000024		
Total PCDFs	—	—	0.44	0	0.019		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	3.3	0.0018	0.044	
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.12	2.3	×0.0001 0.00023	×0.0001 0.00023	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.03	0.10	( 0.09 )	×0.0003 0	×0.0003 0.000027	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.13	0.13	×0.1 0.013	×0.1 0.013	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.05	0.16	( 0.11 )	×0.03 0	×0.03 0.0033	
	Non-ortho PCBs	—	—	2.7	0.013	0.017	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.05	0.17	( 0.11 )	×0.00003 0	×0.00003 0.000033	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.04	0.14	5.1	×0.00003 0.000153	×0.00003 0.000153	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.05	0.17	2.3	×0.00003 0.000069	×0.00003 0.000069	
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.05	0.18	( 0.13 )	×0.00003 0	×0.00003 0.000039	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.06	0.19	( 0.12 )	×0.00003 0	×0.00003 0.000036	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.05	0.17	0.33	×0.00003 0.000099	×0.00003 0.000099	
	2,3,3',4,4',5,5'-HxCB(#157)	0.06	0.19	( 0.06 )	×0.00003 0	×0.00003 0.000018	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.04	0.14	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.000006	
	Mono-ortho PCBs	—	—	8.1	0.00023	0.00025	
Total Co-PCBs	—	—	11	0.013	0.017		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	14	0.015	0.061	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 \* 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

\* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。